

2019年度
SYLLABUS
講義要項

保育学科

山村学園短期大学

保育学科 SYLLABUS もくじ

頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名
【教養科目】								
1	日本国憲法	中川		保育内容C	1年生科目	26	レクリエーション・野外活動	堀口/山村
2	体育講義	木内	14	保育内容D	相沢/今村/室井		ピアノA	1年生科目
3	体育実技	山本		乳児保育	1年生科目	27	ピアノB	福泉/数野/大導寺/町田
4	保育英会話	中村		障がい児保育	1年生科目			福士/宮尾
5	生命倫理	渡邊	15	社会的養護内容	宇田川		スキルアップセミナーⅠ	1年生科目
	コンピュータ基礎演習	1年生科目	16	保育・教育相談の方法	原田	28	スキルアップセミナーⅡ *	福泉/橋本夏/今村/新井英
	保育入門	1年生科目	17	保育・教育課程論	新井英	【実習科目】		
	基礎演習	1年生科目		造形表現	1年生科目		実習指導Ⅰ	1年生科目
【保育の本質・目的に関する科目】			18	子どものアート	有賀		実習指導Ⅱ	1年生科目
6	社会福祉	橋本淳		身体表現	1年生科目	29	実習指導Ⅲ *	橋本淳/相沢/今村
7	相談援助	室井	19	リトミック・リズム運動				宇田川/室井
	児童家庭福祉	1年生科目		音楽表現	1年生科目		保育実習Ⅰ	1年生科目
	保育原理	1年生科目		子どものうたと遊び	1年生科目		施設実習Ⅰ	1年生科目
	社会的養護	1年生科目	【教職に関する科目】			30	保育実習Ⅱ *	橋本淳
8	教育原理 *	新井英		教育方法・技術論	1年生科目	31	施設実習Ⅱ *	宇田川
9	特別支援教育論	宇田川	20	保育・教職実践演習(幼稚園) *	橋本淳/今村		教育実習Ⅰ	1年生科目
	保育・教育職の研究	1年生科目	【保育表現技術科目】			32	教育実習Ⅱ *	相沢
【保育の対象の理解に関する科目】				音楽	1年生科目	【研究理解】		
	保育の心理学Ⅰ	1年生科目		図画工作	1年生科目		クラス運営と教材研究Ⅰ	1年生科目
10	保育の心理学Ⅱ	原田		幼児体育	1年生科目	33	クラス運営と教材研究Ⅱ	橋本淳/北條
	子どもの保健Ⅰ	1年生科目	【保育者の資質を高める科目】				カリキュラムツリー	
	子どもの保健Ⅱ	1年生科目	22	総合演習 *	福泉/橋本夏/今村/新井英		実務教員略歴	
11	子どもの食と栄養	田中		カウンセリング論	2019年度開講せず			
12	家庭支援論	北條	23	乳児小児救命法	橋本夏/マスターワークス			
【保育の内容・方法に関する科目】				子ども文化演習A	1年生科目			
13	保育内容総論 *	相沢		子ども文化演習B	1年生科目			
	保育内容A	1年生科目	25	子ども文化演習C	鴨志田/橋本夏/福泉			
	保育内容B	1年生科目		子ども文化演習D	1年生科目	* 実務教員科目		

教 養 科 目

授 業 科 目 名	日本国憲法			教員名	中川 翔伍		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	憲法、自由、人権、公共の福祉、三権分立、地方自治						
授業の概要	私たちは数多くの法が張り巡らされた社会に生きています。目に見えないので意識しにくいとは思いますが、皆さんの誰しもが法律と共に生活しています。そして、全ての法律の基本となっているのが憲法です。憲法はとっつきにくいというのが正直なところだと思います。しかし、本講義を受講した後、きっと皆さんはニュースや新聞に書いてあることの意味がわかるようになるでしょう。それは皆さんが世界を広げたということです。皆さんが豊かな教養を持った素敵な先生になることを祈念して、わかりやすく憲法をお伝えします。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 憲法理念や国家の成り立ち等の基礎的な教養を習得し、人権感覚を芽生えさせること 【到達目標】 芽生えた人権感覚等を咀嚼し、幼児教育に応用・実践できること						
授業の方法等	授業と小テスト(第2講より開始)を軸にします。その日学んだことをその日に小テストで確認し、講義時間内に解説まで行います。小テストの返却は次回の講義の冒頭で行います。 授業は講義形式を基本としますが、適宜ソクラテスメソッドを用いて双方向的に行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕58% ■授業への取り組み・態度(小テスト含む) 42%						
教科書	『いちばんやさしい憲法入門【第5版】(有斐閣アルマ)』・初宿等共著・有斐閣・平成8年初版発行 1600円(税別)						
参考書	『憲法【第6版】』芦部信喜著・岩波書店・平成5年初版発行 3348円(税別)						
関連科目	社会福祉、相談援助						
質問受付の方法	授業後直接又はメール(shogonakagawa2000@gmail.com、nakagawa@maru-soleil.jpいずれも可)で受け付けます。						
履修上の注意	授業に関心が持てないこともあると思いますが、周りに迷惑をかける行為一切を禁じます。最低でも自己責任の範疇に抑えてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		自己紹介、ガイダンス、憲法総論
	1	〈予習〉テキストの目次や気になるところを読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	2	立憲民主政と改憲論(問題状況の把握にとどめる)、天皇制 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	3	子どもの人権、外国人の人権、公共の福祉(制約)、労働基本権 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	4	平等権、幸福追求権等各権利 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	5	精神的自由権① 思想・良心の自由、信教の自由、政教分離、学問の自由 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	6	精神的自由権② 表現の自由(1)(表現内容規制と内容中立規制、知る権利、検閲) 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	7	精神的自由権③ 表現の自由(2)(結社、集会、通信) 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	8	経済的自由権① 職業選択の自由、営業の自由 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	9	経済的自由権② 財産権、正当補償 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	10	人身・居住移転の自由、刑事手続上の権利 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	11	社会権① 生存権、教育を受ける権利 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	12	社会権② 勤労権、参政権、その他社会権 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	13	三権分立、国会、内閣 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	14	裁判所と司法審査制 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
15	地方自治 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	体育講義			教員名	木内 誠		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	講義
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔 66条の6 〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔 66条の6 〕					卒業認定・ 学位授与方針	
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	体育、運動、スポーツ、健康						DP1
授 業 の 概 要	体育に関する基礎的な理論やスポーツ、運動、健康づくりの実践や指導に関する基礎的知識の習得を目指す。運動技能を身につける(学習する)プロセスに加え、社会のなかでどのような文化としてスポーツが存在するかなど、スポーツに関する幅広い知識を習得する。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 近年、生活の質の向上を目指す機運の向上や健康志向の高まりを背景に、スポーツや運動が社会的関心事のひとつとなっている。本講義では、スポーツを多様な視点から概観し、基礎的知識の習得をねらいとする。 【到達目標】 体育、スポーツ、運動、健康に関する基礎的な理論を理解することができるとともに、実践や指導に関する基礎的知識を身につける。						
授業の方法等	プレゼン資料を用い講義形式で行う。ビデオを用いた学習やグループワークなどアクティブラーニングも行う。定期試験は、授業内容から出題する。						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕40 % ■授業への取り組み・態度 40% ■提出物 20%						
教 科 書	使用しません。必要に応じてプリントを配付します。						
参 考 書	使用しません。必要に応じてプリントを配付します。						
関 連 科 目	体育実技、幼児体育、身体表現						
質 問 受 付 の 方 法	授業の前後にいつでも受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	質問は常時受け付けますので、積極的に参加することを望みます。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション 授業内容・評価方法の説明 体の仕組み1 〈予習〉身体を動かす仕組みについてインターネットで調べる 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
	2	体の仕組み2 〈予習〉内臓の役割についてインターネットで調べる 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
	3	体の仕組み3 〈予習〉骨・筋肉の名称についてインターネットで調べる 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
	4	スポーツ栄養学 〈予習〉5大栄養素についてインターネットで調べる 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
	5	スポーツにおけるトレーニング理論 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
	6	動きの分析と修正1 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉撮影した動作の改善方法を考える 45分
	7	動きの分析と修正2 〈予習〉撮影した動作の改善方法を考える 45分 〈復習〉プレゼンテーションの準備 45分
	8	動きの分析と修正3 〈予習〉撮影した動作の改善方法を考える 45分 〈復習〉プレゼンテーションの準備 45分
	9	動きの分析と修正4 〈予習〉プレゼンテーションの準備 90分 〈復習〉なし
	10	スポーツ心理学 〈予習〉動機についてインターネットで調べる 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
	11	スポーツにおけるリーダーシップ 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
	12	スポーツとマネジメント 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
	13	病気と怪我1 〈予習〉生活習慣病・平均寿命についてインターネットで調べる 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
	14	病気と怪我2 〈予習〉運動における外傷・傷害についてインターネットで調べる 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
	15	まとめ 〈予習〉これまでのノート・配布資料をまとめる 45分 〈復習〉ノート・配布資料をまとめる 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授 業 科 目 名	体育実技			教員名	山本 恵弥里		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	実技
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔66条の6〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕					卒業認定・ 学位授与方針	DP1
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	スポーツ、体育、運動						
授 業 の 概 要	健全な発育や心身の健康の維持・増進には身体を動かすことが重要な役割を果たす。本授業では、スポーツを教材にし、実践を通して心身の健康づくりを理解することを目指す。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 本授業ではスポーツ種目や様々な運動を通して、楽しみながら健康づくりについて学び、実践していく。加えて、協働を通じコミュニケーション能力を高めることをねらいとする。 【到達目標】 スポーツ種目や運動の実践を通して、心身の健康を維持し、その増進を図る。また、他者との協働を行う中でコミュニケーション能力を培う。						
授業の方法等	体育館において実技形式で行う。基礎的な技術やルール、競技特性を理解するための時間を確保し、その上でゲームを行う。						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔実技〕50% ■授業への取り組み・態度 50%						
教 科 書	なし(適宜資料を配付)						
参 考 書	なし(適宜資料を配付)						
関 連 科 目	体育講義、幼児体育、身体表現						
質 問 受 付 の 方 法	授業前後の時間帯に、体育館または講師控室にて。						
履 修 上 の 注 意	・授業の中では安全を守ることに對して十分に注意しながら行う。 ・運動に適した服装(ジャージなど)、運動靴を必ず用意し、水分補給などスポーツを楽しむ上で必要なものを持参する。 ・積極的、協力的な態度での授業参加を期待する。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション						
1	〈予習〉シラバスを読む 45分 〈復習〉これから行うスポーツ種目について調べる 45分						
2	からだほぐしの運動 〈予習〉ストレッチなどについて調べる 45分 〈復習〉授業内で行った運動を実践する 45分						
3	卓球1 ラケットに慣れる 〈予習〉卓球について調べる 45分 〈復習〉卓球のゲームを調べる 45分						
4	卓球2 シングルのゲーム 〈予習〉シングルのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分						
5	卓球3 ダブルスのゲーム 〈予習〉ダブルスのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分						
6	卓球4 団体戦 〈予習〉団体戦について調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分						
7	バレーボール1 ボールに慣れる、パス練習 〈予習〉バレーボールについて調べる 45分 〈復習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分						
8	バレーボール2 サーブ練習、ゲームを行う 〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分						
9	バレーボール3 ゲームを行う 〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分						
10	バレーボール4 チームの連係、ゲームを行う 〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分						
11	バスケットボール1 パス、ドリブル、シュート 〈予習〉バスケットボールについて調べる 45分 〈復習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分						
12	バスケットボール2 3×3のゲーム 〈予習〉3×3でのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分						
13	バスケットボール3 オールコートでのゲーム 〈予習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分						
14	バスケットボール4 攻撃と守備の連係、ゲームを行う 〈予習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分						
15	フライングディスク 〈予習〉フライングディスクについて調べる 45分 〈復習〉授業を振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分						
定 期 試 験	◆定期試験〔実技〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔実技試験の講評を行う〕30分						

授 業 科 目 名	保育英会話			教員名	中村 マンディ		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	幼稚園での英会話						
授 業 の 概 要	保育園や幼稚園で使うであろう英語の学習です。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 教科書に沿って内容を理解し、よく使う表現を反復練習して役割を決めて使い慣れるようにする。 【到達目標】 保育園、幼稚園に日本語が苦手な子どもや親がいた場合に英語を使って、少しでも対応できるようにする。						
授業の方法等	演習形式で授業を進めます。教科書に沿って授業を進めるので、教科書を持参してください。また、会話の聞き取りをしてペアで練習するのでノートを毎回持参する必要があります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕30% ■授業への取り組み・態度 70%						
教 科 書	「保育の英会話」萌文書林 赤松直子、久富陽子著						
参 考 書	適宜紹介、資料を配布						
関 連 科 目	保育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	授業時間中に質問を受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	授業中に寝る・周りに迷惑になるような私語は授業の妨げとなる為、【授業への取り組み・態度】を厳格に評価し、減点対象とします。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	テキストに沿って進めます。第一回は「お名前を覚えて下さい」というテーマで挨拶の学習 〈予習〉Unit1を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉授業の内容を忘れる前に反復練習。100分
	2	「園によこそ！」というテーマで挨拶の学習 〈予習〉Unit2を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉ミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	3	時間と数 〈予習〉Unit3を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉前回のミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	4	地図と道案内 〈予習〉Unit4を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	5	クラスメイトとの出会い 〈予習〉Unit5を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	6	天候の挨拶 〈予習〉Unit6を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	7	食事に関する表現 〈予習〉Unit7を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	8	生活習慣の表現 〈予習〉Unit8を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	9	子供同士の交流の表現 〈予習〉Unit9を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	10	怪我と病氣 〈予習〉Unit10を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	11	電話での対応 〈予習〉Unit11を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	12	遠足 〈予習〉Unit12を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	13	赤ちゃんのケア 〈予習〉Unit13を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	14	卒園 〈予習〉Unit14を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	15	まとめ 〈予習〉Unit15を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと今までの授業の内容を見ないで言えるように反復練習。100分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	生命倫理			教員名	渡邊 智寛		
配 当 年 次	1・2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格 と の 関 係							卒業認定・ 学位授与方針 DP1
授業内容を示す キ ー ワード	生殖補助医療、遺伝子操作、子どもの自己決定、脳死・臓器移植、安楽死、動物の生命、環境問題						
授 業 の 概 要	生命に関わる倫理的問題の検討を通して、そこではどんな考え方が衝突しているのか、それらの考えがどんな背景をもっているのかを学びます。私たちにとって常に身近である生命の取り扱い、生命の価値、生命の終わり方といった問題を、自分の問題として深く考えます。周囲に散見されるこれらの問題は、多くの場合きわめて重要でありながら、しかし同時に、容易に解決することが困難でもあることを、深く理解します。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 規範が複雑化し価値観が多様化した現代社会では、高度な倫理的判断力が求められます。機械的な対応に陥らず自ら思考し判断する力が欠かせません。専門的な知識を獲得したうえで、倫理的に思考し、判断し、応用する力を養成します。他人の意見を理解し尊重する態度も養います。 【到達目標】 (1)生命倫理的諸問題を具体的かつ詳細に理解することができる。 (2)各学説の意味と目的を正確に理解することができる。 (3)各問題に対し自分の意見を形成することができる。 (4)その意見の根拠・理由を正確に説明することができる。						
授業の方法等	「授業形態」は「講義」となっていますが、学生グループによる調査や発表、全員参加の討論が中心となります。授業の終盤では教員による総括と解説がなされます。統計や新聞記事、ビデオ教材なども扱います。自分の意見とその理由などを論述する課題(授業内提出物)もあります。						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 30%						
教 科 書	なし(適宜資料を配付)						
参 考 書	調査・発表テーマに応じ、適宜教員が指示します。						
関 連 科 目	子どもの保健Ⅰ						
質 問 受 付 の 方 法	講義前後の時間帯に、教室または講師控室にて。 bioethics.mn@gmail.com						
履 修 上 の 注 意	普段から講義内容に関連するテレビ・新聞・インターネット等の情報になるべく多く接するよう心掛けてください。家族や友人と話し合うことなども強く薦めます。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	導入：生命倫理学とはなにか 〈予習〉シラバスを用いてどのようなテーマを扱うか確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	2	生命の始まりに関わる問題① 生殖補助技術、人工妊娠中絶 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	3	生命のはじまりに関わる問題② 子供の選択、権利は誰のものか 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	4	生命の取り扱いに関わる問題① 遺伝子操作、クローン人間 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	5	生命の取り扱いに関わる問題② 遺伝子の選択と排除、ヒトの改良と強化 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	6	生命の質と自己決定に関わる問題① 医師―患者関係、高度医療資源配分問題 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	7	生命の質と自己決定に関わる問題② インフォームド・コンセント、QOLとSOL 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	8	生命の終わりに関わる問題① 脳死・臓器移植、安楽死・尊厳死、終末期医療 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	9	生命の終わりに関わる問題② 死の概念、治療の概念、死を認める条件 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	10	人間以外の生命に関わる問題① 命を食す、ペットを飼う、動植物を利用する 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	11	人間以外の生命に関わる問題② クジラ・イルカ漁の是非、普遍的道徳と文化相対主義 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	12	環境と人間に関わる問題① 自然とは何か、自然と人間の関係、未来に対する責任 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	13	環境と人間に関わる問題② ディープ/シャロー・エコロジー、生命圏全体主義 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	14	総論① 生命倫理基本四原則＋自律尊重原理、功利主義、(新)優生主義 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
	15	総論② 自己決定、愚行権、パーソン論、動物・環境の権利 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。90分 〈復習〉配布資料を見直す。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

保育の本質・目的に関する科目

授 業 科 目 名	社会福祉			教員名	橋本 淳一		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔社会福祉〕					卒業認定・ 学位授与方針	DP2
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	ノーマライゼーション アドボカシー 社会福祉基礎構造改革 トウギャザー・ウィズ・ヒム						
授 業 の 概 要	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点、社会福祉の法律・制度や実施体系、社会福祉における利用者保護の仕組み、社会福祉の動向と課題等について学ぶ。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 社会福祉と現実の子ども家庭支援や保育がどう繋がっているのかを知るとともに、現代の社会福祉の考え方や体系を理解し、その法律や制度、専門的方法・技術など、子ども家庭支援や保育の現場にいかせる知識の獲得をめざす。 【到達目標】 保育者に必要な社会福祉の理念や概念、歴史、制度と法律、相談援助の理論や方法・技術、及び社会福祉における子ども家庭支援の方策について理解し、適用することができる。						
授業の方法等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度 20 %						
教 科 書	馬場茂樹・和田光一編著『現代社会福祉のすすめ』学文社、2012年。（2,415円）						
参 考 書	『国民福祉の動向』（厚生統計協会）						
関 連 科 目	児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		社会福祉の理念と対象、社会福祉における利用者保護に関わる仕組み
	1	〈予習〉テキスト第2章を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	2	日本の社会福祉のあゆみ① 前近代から昭和初期まで 〈予習〉テキスト第4章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	3	日本の社会福祉のあゆみ② 戦後の社会福祉の展開 〈予習〉テキスト第4章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	4	イギリスを中心とする欧米の社会福祉のあゆみ 〈予習〉テキスト第4章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	5	社会福祉の法体系と実施機関 〈予習〉テキスト第3章2.3を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	6	社会福祉と障害に関する海外事例研究① 〈予習〉テキスト第8章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	7	社会福祉と障害に関する海外事例研究② 〈予習〉テキスト第8章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	8	日本の社会保障・保険制度① 年金・健康保険 〈予習〉テキスト第3章1.2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	9	日本の社会保障・保険制度② 公的扶助・生活保護 〈予習〉テキスト第6章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	10	地域の福祉とボランティア、社会福祉の専門職、相談援助の技術 〈予習〉テキスト第5・7章を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	11	子どもと家族の福祉 〈予習〉テキスト第6章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	12	障害をもつ人の福祉 〈予習〉テキスト第6章3を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	13	高齢者の福祉 〈予習〉テキスト第6章4を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	14	授業のまとめ 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着させる 90分
定 期 試 験	15	問題演習 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉問題演習を振り返り理解を定着させる 90分
		◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	相談援助			教員名	室 井 佑 美		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修[相談援助]					卒業認定・学位授与方針	DP2
授業内容を示すキーワード	相談援助 ソーシャルワーク 面接 コミュニケーション 連携 倫理 自己理解 他者理解						
授業の概要	保育者として、現代社会の中で求められている相談援助の技術や技能を習得するために、ソーシャルワークの意義や歴史の変遷、方法と技術等、専門的な理論に基づいて学びます。さらに、相談援助の技術について、個別援助技術(ケースワーク)を中心に用いて、他者理解、自己理解を深めながら学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの健やかな育ちを支えるため、保育者として子どもがかかわる家庭、社会等、環境に対する相互作用を支援し、保護者や地域の育児力向上が望めるよう、相談援助の理論および技術を習得する。 【到達目標】 (1)ソーシャルワーク理論に基づき、「相談援助」とは何かを理解する。 (2)保育者として、課題を整理して問題解決に必要な支援を具体的に考え、支援方法を示すことができる。 (3)専門職としての職業倫理を踏まえて他者および自己理解を深め、配慮した態度と言動をとることができる。 (4)記録の意義を理解して、平等且つ明瞭な文章を書き記すことができる。						
授業の方法等	演習および講義形式で授業を進めます。授業中は、自ら考え、積極的に発言、主張、行動をしていくことを求めます。また、視聴覚教材の使用、グループワーク等も授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕30% ■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 20%						
教科書	「ちょっとした言葉かけで変わる保護者支援の新ルール10の原則」 大豆生田啓友 メイト 保育所保育指針解説 厚生労働省 フレーベル館						
参考書	保育小六法、その他授業中に適宜紹介、資料を配布します。						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 保育・教育相談の方法 等						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室およびリアクションペーパー等で受け付けます。						
履修上の注意	授業内で配布するプリント等)に書き込み、ノートの作成を行います。学んだことは一両日に整理してまとめておきましょう。演習に対して真剣に行うことで、技術が向上し、自己省察も深まります。意識高く望んでください。 やむを得ず欠席する場合は、翌日には研究室に資料を受け取り、課題の把握、授業内容の確認をしてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション、相談援助とは何か(定義と内容)
1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉配布資料を読む 90分
2	相談援助の理論・意義・機能 〈予習〉指定された演習を個別で実施する 45分 〈復習〉配布資料を読む 45分
3	相談援助の対象と過程 〈予習〉指定された演習を集団で実施する 45分 〈復習〉配布資料を読む 45分
4	相談援助の実践モデルとアプローチ方法 〈予習〉自己理解のワークを行う 20分 〈復習〉指定プリントに第1～4回の学習内容をまとめる 60分
5	自己理解と他者理解(価値観や判断の基準を考える) 〈予習〉自己理解のワークを行う 45分 〈復習〉第5回の演習を振り返る 45分
6	コミュニケーション技法と面接技法①(座り方・位置・視線・姿勢・うなづきと共感・傾聴) 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉動画を見て、省察する 45分
7	コミュニケーション技法と面接技法②(話題の展開・反射・要約・支持・相手への理解) 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉動画を見て、省察する 45分
8	相談援助の方法と技術①(虐待・障がい・保育相談事例に基づいたケースワーク) 〈予習〉配布された事例を読み、問題を整理する 45分 〈復習〉検討した事例を整理する 45分
9	相談援助における記録と評価 〈予習〉配布資料を読む 20分 〈復習〉演習したものを記録に起こす 70分
10	相談援助における関係機関との協働、多様な専門職との連携 〈予習〉配布資料を読む 20分 〈復習〉指定プリントに第9～10回の学習内容をまとめる 70分
11	相談援助の方法と技術②(障がい・保育相談事例に基づいたグループワーク) 〈予習〉配布された事例を読み、問題を整理する 45分 〈復習〉検討した事例を整理する 45分
12	相談援助の方法と技術③(事例に基づいたコミュニティワーク)と社会資源の活用、調整、開発) 〈予習〉配布された事例を読み、問題を整理する 45分 〈復習〉検討した事例を整理する 45分
13	相談援助の方法と技術④(関連した援助技術の理解) 〈予習〉配布資料を読む 20分 〈復習〉指定プリントに第13回の学習内容をまとめる 70分
14	相談援助における倫理基盤(保育士、社会福祉士の倫理綱領を中心に) 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉相談援助の授業内容を振り返る 45分
15	相談援助のまとめ 〈予習〉配布資料を読む 45分 〈復習〉テストに向けて資料をまとめる 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	教育原理 *			教員名	新井 英人		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔教育原理〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想。教育に関する社会的、制度的又は経営的事項。〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP2	
授業内容を示すキーワード	学校教育、教育思想、教育史、学習指導要領、教育法規						
授業の概要	「教育は人なり」と言われる。教育の目的や歴史を踏まえながら、人間形成において最も重要な乳幼児期の保育に携わる保育士・幼稚園教諭に必要な、学校教育に関わる理念、教育制度、学習指導要領、教育課程、学習指導等の基礎的な知識を学ぶ。また、教育者として教育現場や教育行政での勤務経験を有する実務教員であることから、教育現場や教育行政での教育者の視点、子ども・保護者の視点、地域住民の視点等多角的に現状を伝え、教育の専門的知識に活かしていく。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 教育の目的や意義・方法等について学習し、保育士・幼稚園教諭として必要な基本的な知識や考え方を習得する。						
	【到達目標】 (1)教育の意義・目的について理解する。 (2)学校教育の歴史と制度について理解する。 (3)教育の制度について理解する。 (4)教育実践のさまざまな取組について理解する。 (5)教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式で行う。できるだけ具体的な内容を提示したり、レポートの提出を行ったりして理解を深めていく。また、最近の教育の動向やさまざまな教育問題等についても学んでいく。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	保育士養成課程「教育原理」小田豊監修、野尻裕子・栗原泰子編著、光生館						
参考書	文部科学省HP						
関連科目	保育原理						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応する。						
履修上の注意	講義の記録、配付した印刷物等はA4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	教育とは何かを考える	
	1	〈予習〉「教育とは何か」自分の考えをまとめる。教科書の第1章1を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	2	教育の目的を考える 〈予習〉教科書の第1章3を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	3	子どもの権利としての教育と福祉 〈予習〉教科書の第2章1を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	4	日本における就学前教育と児童福祉 〈予習〉教科書の第2章3を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	5	日本の教育の歴史 I 〈予習〉教科書の第3章1・2を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	6	日本の教育の歴史 II 〈予習〉教科書の第3章3・4を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	7	近代日本までの教育理論 〈予習〉教科書の第4章1を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	8	日本の幼児教育理論 〈予習〉教科書の第4章2・3を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	9	諸外国における教育観と子ども観の変遷 〈予習〉教科書の第5章1を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	10	日本の教育制度 〈予習〉教科書の第4章2・3を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	11	教育行政の目的と組織 〈予習〉教科書の第6章1を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	保育内容の変遷 〈予習〉教科書の第7章3・4を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	13	教育実践の基礎理論 〈予習〉教科書の第8章1・2・3を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	14	教育実践の多様な取り組み 〈予習〉教科書の第8章5を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
定 期 試 験	15	生涯学習社会と学校教育 〈予習〉教科書の第9章1・2を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	特別支援教育論			教員名	宇田川 和久		
配 当 年 次	1・2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修						卒業認定・学位授与方針 —
授業内容を示すキーワード	共生社会、インクルーシブ教育システム、特別支援教育、障害特性、就学支援、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、特別支援教育コーディネーター						
授業の概要	○インクルーシブ教育システムの理念である障害のあるなしにかかわらず共に学ぶことの重要性について学びます。 ○また、このシステムを構築するため、特別支援教育を推進する必要があることを学びます。 ○さらに、特別支援教育は、特殊教育の対象であった障害に加えLD、ADHD、高機能自閉症等も対象とし、子どもたち一人一人の教育的ニーズを踏まえ、その持てる力を最大限に高めるための教育として今後極めて重要になることを障害に関する基礎的な知識や教育の現状や課題などを通して学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ○障害者を取り巻く社会環境の変化を理解し、インクルーシブ教育システムの必要性とその在り方について考えます。 ○その上で、特別支援教育の意義や制度等について理解し、特別な教育的ニーズのある子どもたちを支援するために必要な基礎的・基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】 (1)障害者を取り巻く社会環境の変化とインクルーシブ教育システムの必要性について理解する。 (2)特別支援教育の理念や基礎的な体系を理解する。 (3)特別支援教育の指導・支援内容と実践方法を理解する。 (4)個に応じた指導・支援の方法について理解する。 (5)特別支援教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	基本は講義形式としますが、主体的な学びを進めるため、アクティブラーニングの視点を取り入れ授業を進めます。 授業では障害のある子供たちの支援の在り方等の実際について理解を図るために、ビデオ視聴やレポート発表などを通して、学生との双方向性のある授業展開を目指します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教科書	必要に応じてプリントを配布します。						
参考書	文部科学省及び国立特別支援教育総合研究所のホームページにある資料						
関連科目	障がい児保育						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	講義等の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	障害者を取り巻く社会環境の変化とインクルーシブ教育システム 〈予習〉障害者に関する新聞記事等を読み自分の考えを記述する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	2	インクルーシブ教育システムの構築と特別支援教育 〈予習〉障害児等に関する新聞記事等を読み自分の考えを記述する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	3	特別支援教育の現状 〈予習〉特別支援教育に関する新聞記事を読み自分の考えを記述する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	4	視覚障害児及び聴覚障害児の理解と指導の実際 〈予習〉視覚障害児及び聴覚障害児に関する新聞記事等を読み自分の考えを記述する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	5	肢体不自由児及び病弱児の理解と指導の実際 〈予習〉肢体不自由児に関する新聞記事等を読み自分の考えを記述する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	6	知的障害児の理解と指導の実際 〈予習〉知的障害児に関する新聞記事等を読み自分の考えを記述する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	7	重複障害児の理解 〈予習〉障害児等に関する新聞記事等を読み自分の考えを記述する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	8	LD、ADHD児の理解 〈予習〉発達障害児に関する新聞記事等を読み自分の考えをまとめる。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	9	自閉症児の理解 〈予習〉発達障害児に関する新聞記事等を読み自分の考えをまとめる。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	10	情緒障害児の理解 〈予習〉発達障害児に関する新聞記事等を読み自分の考えをまとめる。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	11	障害と就学支援 〈予習〉障害について考え、自分の意見を記述する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	12	特別支援学校における教育の実際 〈予習〉特別支援学校に関する情報を収集する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	13	特別支援学級における教育の実際 〈予習〉特別支援学級に関する情報を収集する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	14	通級による指導の実際 〈予習〉通級による指導に関する情報を収集する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
	15	今後の特別支援教育の方向性 〈予習〉特別支援教育の意義等について自分の考えを整理する。・・・90分 〈復習〉レジュメをまとめる。・・・90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

保育の対象の理解に関する科目

授 業 科 目 名	保育の心理学Ⅱ			教員名	原田 友毛子		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育の心理学Ⅱ〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）〕						卒業認定・学位授与方針 DP2
授業内容を示すキーワード	子どもの発達、遊び、発達援助、保育実践、幼小連携						
授業の概要	1. 保育の心理学Ⅰをふまえて、子どもの心身の発達と保育実践について理解を深める。 2. 生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解する。 3. 保育の現場での発達援助の方法について具体的に学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ・子どもの心身の発達と経験や学習の過程について理解する。 ・保育の具体的な場面において適切に対応できるようにする。 ・子どもの気持ちや状態を捉え、声かけや発達援助ができるようにする。 ・発達上のトラブルを抱える子に気づき、保護者や子どもによりよい支援ができる。 【到達目標】 ・子どもの心身の発達に関わる事柄（環境、経験、発達障害等）について説明ができるようになる。 ・保育において子どもや集団に何が必要であるかを見極め適切な関わり方を考えることができる。 ・適切な保護者対応について具体的な方策を考えることができる。						
授業の方法等	・教育実習3週間を除く、12回の授業を行います。 ・毎回、指定された人は前時の振り返りについての発表をおこなう。 ・教科書の事例に対してどのように対応するかについて個人で考える。 ・グループになって具体的な対応を討議し、より適切な対応について理論を基に考える。 ・場面によっては保育者と子ども、あるいは保育者と保護者などの役割でロールプレイングを体験し実践を通して理解を深める。これらはアクティブラーニングの手法に基づいておこなう。 ・本時の学びについて振り返りカードにまとめる。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 20%						
教科書	「保育の心理学Ⅱ―演習で学ぶ、子ども理解と具体的援助―」 井戸ゆかり 編 園田巖・紺野道子 2015年（萌文書林）						
参考書	「保育の心理学Ⅱ」 清水益治・無藤 隆（北大路書房） 「保育の心理学Ⅰ・Ⅱ」 本郷一夫（建帛社） 幼稚園教育要領解説 文部科学省 ・ 保育所保育指針解説 厚生労働省（フレーベル館）						
関連科目	保育の心理学Ⅰ 保育・教育相談の方法 特別支援教育論						
質問受付の方法	授業中、授業前後、レスポンスカードへの記載等、随時受け付ける。						
履修上の注意	・毎回配布するレジュメには試験の際に出題することが記載してあるので丁寧に保管します。 ・子どもをどう見るか、どう捉えるか、ということは自分自身の価値観にも関わる内容ですので真摯に取り組むことを望みます。 ・ロールプレイなどの演習はやってみて気づいたり理解することが多いので積極的にやってみましょう。習うより慣れるです。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		子ども理解における発達の把握 この科目に関するオリエンテーション
	1	〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
	2	個人差や発達過程に応じた保育 身体感覚を伴う多様な経験と環境との相互作用 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
	3	環境としての保育者と子どもの発達 子ども相互の関わりと関係作り 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
	4	自己主張と自己統制 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
	5	子ども集団と保育の環境 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
	6	子どもの生活と学び 子どもの遊びと学び 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
	7	生涯にわたる生きる力の基礎を培う 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
	8	基本的生活習慣の獲得のと発達援助 自己の主体性の形成と発達援助 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
	9	発達の課題に応じた援助やかかわり 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
	10	発達の連続性と就学への支援 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
	11	発達援助における協働 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
定 期 試 験	12	現代社会における子どもの発達と保育の課題 保護者への支援 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉試験対策（可能な限りの時間）
定 期 試 験		◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	子どもの食と栄養			教員名	田 中 直 代		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修[子どもの食と栄養]						卒業認定・学位授与方針 DP2
授業内容を示すキーワード	母乳、朝食、はし、クワシオルコル、くる病、貧血、水分、グルタミン酸、節分、給食、エビペン						
授業の概要	子どもが健康に発育し、成長するためには適切な量と質の食事は大切である。栄養学の基礎、子供の成長による生理的变化や栄養状態を評価する方法を学ぶ。また、料理選択型栄養教育である「3.1.2弁当箱法」、「育児用ミルクの調乳」、「離乳食の試食」の演習を行う。これらを通して、子どもや保護者に支援となる知識や技術を習得する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの各発達段階における食と栄養の重要性を理解する。子どもの食生活の現状と課題を理解する。食の伝承を受け継ぎ豊かな食生活を伝える担い手となるように食に関心を持ち、子どもや保護者とともに食を楽しむ。体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもに対する食事の対応を学ぶ。これらを通して、保育士として、子どもや保護者に適切な支援をする姿勢や態度を身につけるために学ぶ。 【到達目標】 1.健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的な知識を理解する。 2.子どもの発育・発達と食生活の関連について理解が深まる。 3.食育の基本とその内容および食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。 4.家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題を説明できる。 5.特別な配慮を要する子どもの食と栄養について適切に対応できる。						
授業の方法等	・パワーポイントのスライドと配布プリントによる講義と演習形式で行います。 ①3・1・2弁当箱法をカフェテリアで行います。 ②育児用ミルクの調乳、離乳食の試食を各自行い技術を身につけます。） ・項目によっては色鉛筆を使います。 ・小テストがあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60％ ■授業への取り組み・態度(ファイルノート点検) 10％ ■提出物〔演習について(3回)〕30％ ※出席は教科書、ファイルを確認する						
教科書	「子どもの食と栄養」 児玉浩子編 中山書店、2018年、2,100円＋税 「646食品成分表2019」 とうほう 2019年 619円＋税						
参考書	「授乳・離乳の支援ガイド 実践の手引き」 財団法人母子衛生研究会編 母子衛生事業団 3,500円＋税 「子どもの食と栄養演習ブック」 松本峰雄監修 ミネルヴァ書房 2,500円＋税						
関連科目	子どもの保健Ⅰ、保育実習Ⅰ・Ⅱ、施設実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履修上の注意	保育士資格必修なので遅刻・欠席等をしないこと。演習は髪をまとめる。爪を切る、適切な服装で受講する。エプロン、三角巾、弁当箱を用意する。配布資料はA4判2穴ファイルに整理と保存する。後日ノート提出。復習テストあり。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	子どもの健康と食生活の意義	
	1	〈予習〉P2～5「2015年乳幼児栄養調査(図、表)」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	2	栄養・食に関する基本的知識 (1)消化吸収の仕組み、栄養の基礎知識 〈予習〉P26.27「便の特徴」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
		栄養・食に関する基本的知識 (2)タンパク質の代謝と栄養学的意義
	3	〈予習〉食品成分表よりタンパク質を多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	4	栄養・食に関する基本的知識 (3)糖質、脂質の代謝と栄養学的意義 〈予習〉食品成分表で炭水化物、脂質、コレステロールを多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
		栄養・食に関する基本的知識 (4)ビタミンの代謝、ミネラルの代謝と栄養学的意義、水分、食物繊維
	5	〈予習〉食品成分表で水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン等多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	6	栄養・食に関する基本的知識 (5)妊娠期、授乳期の食事摂取基準、食事バランスガイド 〈予習〉食品成分表P156で葉酸を多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
		栄養・食に関する基本的知識 (6)思春期： 3.1.2弁当箱法(演習)
	7	〈予習〉配布したプリントを読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	8	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (1)乳幼児期の咀嚼の発達 DVD視聴 〈予習〉P52・53「咀嚼機能の発達の目安について」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
		子どもの発育・発達と栄養・食生活 (2)乳児期栄養
	9	〈予習〉P62「乳汁栄養 母乳栄養の利点と留意点」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	10	乳児期：調乳(演習) 〈予習〉「育児用ミルクの調乳方法」を熟読する。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	11	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (3)幼児期栄養 〈予習〉P74「幼児期の成長と発達」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
		乳幼児期：離乳食(演習)
定 期 試 験	12	〈予習〉配布したプリントを読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	13	食育の基本と実践 〈予習〉P88「食育基本法の概要」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
	14	児童福祉施設における食と栄養(講義) 〈予習〉P112「給食の課題と配慮すべき点」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
		特別な配慮を要する子どもの食と栄養 〈予習〉P136「食物アレルギー」を読む。90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分	
	◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	家庭支援論			教員名	北 條 直 子		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔家庭支援論〕						卒業認定・学位授与方針 DP2
授業内容を示すキーワード	①家庭支援の意義 ②家庭支援を取り巻く社会的状況 ③保護者支援(傾聴と信頼関係)とコミュニケーション力 ④関連機関との連携						
授業の概要	①心豊かな子どもの成長を促す家族の役割を理解する。 ②現在社会の中で取り巻く家庭の状況・問題や課題を意識する。 ③保育者としての支援方法や具体的ななかわり方を学ぶ。 ④子育て支援政策を理解し、地域の関係機関等のつながりを理解する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ①子どもを育てる為に、保育者と保護者との信頼関係を築くことが、保育者として基本であることを自覚する。 ②信頼関係を築く具体的な事例を通して支援方法を認識・実践する。 ③支援政策動向を理解し、地域の関係機関等のつながりを認識する。 【到達目標】 ①子どもへの保育課題、保護者の支援方法を様々な事例を通して、学生なりに解決方法を見いだすことができる。 ②傾聴の必要さを自覚し、保護者に寄り添う行動や言動を実践することができる。 ③子育ての事例を通して、支援課題と地域の関係機関等につなげていく過程を理解する。						
授業の方法等	講義 事例を通してのグループ協議・発表 課題に沿ったレポート提出						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60％ ■授業への取り組み・態度(自己発表等) 20％ ■提出物 20％						
教科書	実践「家庭支援論」 松本園子 永田陽子 福川須美 堀川美智子著 ななみ書房2,100円＋税 * 毎回持参する						
参考書	・文部科学省「幼稚園教育要領解説」・厚生労働省「保育所保育指針」 ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領等。 ※他、授業中に適宜紹介します。						
関連科目	相談援助 社会的養護						
質問受付の方法	授業中、終了後随時受け付ける。						
履修上の注意	遅刻・欠席はしないこと。配布されたプリントは各自自己管理をし、忘れず持参する。 A4のプリントが入るファイルを用意すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション（授業の流れ及び目標説明） 家庭支援とは何か
	1	〈予習〉児童憲章を調べる。90分 〈復習〉各学生が受けてきた子育て支援を振り返る。90分
	2	各種制度からみる保育・子育て支援の位置づけ（児童福祉法・保育指針・教育基本法） 〈予習〉各種制度を調べる。 〈復習〉配布されたプリントを見返す。90分
	3	子育てをめぐる問題（今と昔の子育て方法の違い） 〈予習〉各自の母子手帳を読み、自己の育ちを保護者から聞く。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	4	自分が受けてきた社会支援（現在の社会サービスや支援政策動向の理解） 〈予習〉教科書P52～60を読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	5	保育者の支援の位置づけ（保育所保育指針を読み解き、保育士の職務について確認） 〈予習〉保育所保育指針を読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	6	子育て家庭支援の政策動向と展望 〈予習〉教科書P61～78を読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	7	地域の子育て関係機関（子育て支援問題をつなげていく流れ） 〈予習〉地域の子育て関係機関を調べる。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	8	保育士のコミュニケーション力を高める① ジェノグラムを使って子ども・保護者の理解 〈予習〉配布された事例から子ども・保護者の姿を読み解く。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	9	保育士のコミュニケーション力を高める② 事例を通してジェノグラムを使って課題を分析 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	10	保育士のコミュニケーション力を高める③ 文章コミュニケーション（連絡帳の書き方） 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	11	保育士のコミュニケーション力を高める④ 言語的コミュニケーション（リフレーミング）の実践 〈予習〉事前配布されたプリントと読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	12	特別なニーズを持つ家族の姿と援助① 育てにくい子ども・障害のある子どもと親への対応 〈予習〉教科書P85～78読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	13	特別なニーズを持つ家族の姿と援助② 乳幼児の虐待種類・説明・症状 〈予習〉教科書P109～134を読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	14	世界の子育て支援（世界の出生率・女性労働・子育て関連制度） 〈予習〉教科書P135～164を読む。90分 〈復習〉配布プリントにまとめる。90分
	15	世界の子育て支援と日本の子育て支援（世界の保育環境）、家庭支援のまとめ 〈予習〉世界の保育環境を調べる。90分 〈復習〉子どもの未来の責任と協力者であることを認識をする。90分
定 期 試 験		◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

保育の内容・方法に関する科目

授 業 科 目 名	保育内容総論 *			教員名	相沢 和恵		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育内容総論〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔保育内容の指導法〕					卒業認定・ 学位授与方針	DP2
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	幼稚園 保育所 幼保連携型認定こども園 子どもの発達 養護 教育 5領域 遊び 生活						
授 業 の 概 要	乳幼児期に子どもが保育の中で体験する内容について理解する。保育は園の生活全体を通して総合的に営まれという考え方を踏まえて環境構成をし、実践する為に必要な知識を身に付ける。特に幼稚園教諭、保育士としての職務経験を活かして、具体的な乳幼児の姿と関連させ、子どもが遊びの中でどのような経験をしているのかを学び、5領域のねらい及び内容とのつながりを意識して、遊びを通して子どもが育つことを理解できるような授業展開をする。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 ・保育の基本を踏まえた園における保育内容の考え方を理解する。 ・乳幼児の発達を見通した指導計画の作成を理解する。 ・乳幼児の実態に応じた具体的な保育内容を理解する。 【到達目標】 ・遊びを通しての総合的な保育の意義と保育者の役割が説明できる。 ・乳幼児理解に基づく評価について説明できる。 ・乳幼児にとっての行事の意義を理解し、園行事のあり方を説明できる。 ・模擬保育を通してねらい及び内容に沿って総合的に保育する力を身に付ける。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 課題に沿ったグループ討議やレポート提出を求めます。						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔筆記〕50 % ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 20%						
教科書	演習「保育内容総論 あなたならどうしますか」酒井幸子・守巧 編 萌文書林 1,900円 「幼稚園教育要領解説」、「保育所保育指針解説」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」						
参 考 書	必要に応じて紹介します						
関 連 科 目	保育内容A. B. C. D、保育・教育課程論、特別支援教育論						
質 問 受 付 の 方 法	担当へ随時受け付けます						
履 修 上 の 注 意	プリント類はA4版2穴ファイルに整理、保存します						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	保育内容を総論としてとらえる 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	2	幼稚園教育要領からひもとく保育内容 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	3	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領からひもとく保育内容 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	4	子どもと保育内容① 子ども理解 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	5	子どもと保育内容② 子どもを取り巻く環境 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	6	子どもと保育内容③ 子どもと遊び 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	7	領域と保育内容① 健康・環境 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	8	領域と保育内容② 人間関係・言葉 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	9	領域と保育内容③ 表現 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	10	保育者の役割と保育内容① 気になる子の支援 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	11	保育者の役割と保育内容② 保護者との連携 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	12	保育者の役割と保育内容③ 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	13	保育者の役割と保育内容④ 家庭・地域・関係機関との連携 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	14	保育実践とのつながりを考える 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 45分
	15	保育内容の今後の展望と課題 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 20分 〈復習〉定期試験内容の教科書該当ページ、プリントを読み復習する 70分
定 期 試 験		◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	保育内容D			教員名	相沢 和恵 今村 麻子/室井 佑美		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭免許必修〔保育内容の指導法〕						卒業認定・学位授与方針 －
授業内容を示すキーワード	保育内容 育みたい資質・能力 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 5領域 発達 行事						
授業の概要	養護と教育にかかわる保育内容について全体をとおして理解し、総合的に保育を展開していくための子どもへの理解や保育内容、方法について学びます。実践的な活動を通して、子どもに育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の観点からとらえ、ねらいと内容を具体的に習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育内容を総合的に保育活動へ展開していくための知識、技術、判断力を具体的に考え、言語化して表現できる。年間をとおした園運営と行事に焦点をあて、保育内容との関連をふまえた意図やねらいをもち保育を展開できる。 【到達目標】 (1) 行事における子どもの育ちと五領域の総合性や関連性を説明できる。 (2) 行事に向けて子どもの発達に即した自立を育む意図やねらいをもち、配慮を考えられる。 (3) 行事の実施計画をふまえて実践を協議して行い、自らの保育実践活動を記録し、適切な評価と改善を検討できる。						
授業の方法等	演習および講義形式で授業を進めます。複数名の教員体制でオムニバス方式の授業を展開します。保育教材の発表、学外学習の企画・運営等、実施計画に基づく実践を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕 30% ■授業への取り組み・態度 40% ■提出物 30%						
教科書	保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 月刊「保育とカリキュラム(2018年度版)」ひかりのくに						
参考書	授業中に適宜紹介、資料を配付します。						
関連科目	保育内容A 保育内容B 保育内容C 保育内容総論 保育・教育課程論 教育方法・技術論						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存しましょう。保育内容Aから保育内容Dまでは一貫して記録保存をしていきます。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション、保育内容と行事、行事の意義
	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉第1回の配布資料を読む 180分
	2	安全・防災指導①(子どもの育ちと危険に対する意識、災害時の行動) 〈予習〉安全・防災指導に関する年間計画を読む 90分 〈復習〉配布資料を読む 90分
	3	安全・防災指導②(子どもへのねらいと保育内容を意識した活動への実施計画立案) 〈予習〉危険に対する子どもの言動の発達を調べる 90分 〈復習〉必要な教材を集める 90分
	4	安全・防災指導③(子どものねらいと保育内容を意識した活動への教材準備(1)) 〈予習〉災害時に必要な行動を調べる 90分 〈復習〉必要な教材を作成する 90分
	5	安全・防災指導④(子どものねらいと保育内容を意識した活動への教材準備(2)) 〈予習〉災害時に必要な子どもに伝えるべき行動を調べる 90分 〈復習〉教材を披露するロールプレイをする 90分
	6	安全・防災指導⑤(実施計画の披露と評価、改善した再計画立案(1)) 〈予習〉配布資料を読む 90分 〈復習〉動画を見て、省察する 90分
	7	安全・防災指導⑤(実施計画の披露と評価、改善した再計画立案(2)) 〈予習〉配布資料を読む 90分 〈復習〉動画を見て、省察する 90分
	8	園外保育①(意義と行き先選定、子どもへのねらいと実施計画立案) 〈予習〉園外保育初回のため、なし 〈復習〉第8回の配布資料を読む 180分
	9	園外保育②(実施計画に基づいた人的・物的環境の活用方法と評価) 〈予習〉園外保育で起こり得るリスクをあげる 90分 〈復習〉配布資料を読む 90分
	10	園外保育③(事前の実地踏査と把握すべき視点(1)) 〈予習〉園外保育で保育者が必要な物品をリストアップする 90分 〈復習〉実地踏査のマップに必要事項を記入する 90分
	11	園外保育④(事前の実地踏査と把握すべき視点(2)) 〈予習〉園外保育で子どもが必要な物品をリストアップする 90分 〈復習〉園外保育でのリスク対応を考える 90分
	12	園外保育⑤(事前の実地踏査と把握すべき視点(3)) 〈予習〉園外保育でかかるマイマネジメントを考える 90分 〈復習〉実地踏査でかかった時間をマップに記入する 90分
	13	園外保育⑥(実地踏査に基づく実施計画の再考) 〈予習〉事前に立案した実施計画の要改善点をチェックする 90分 〈復習〉配布資料を読む 90分
	14	園外保育⑦(保護者に向けた資料の作成、園外保育に向けた週案作成) 〈予習〉配布資料を読む 90分 〈復習〉園外保育の授業内容を振り返る 90分
	15	保育内容A、保育内容B、保育内容C、保育内容Dの総合的なまとめ 〈予習〉保育内容A～Dの配布資料を一読する 120分 〈復習〉五領域を総合性・関連性を振り返る 60分
定 期 試 験		◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績通知配布時にコメントを記入して返却します。〕

授 業 科 目 名	社会的養護内容			教員名	宇田川 和久		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修 ○保育士資格必修[社会的養護内容]					卒業認定・ 学位授与方針	DP2
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	社会的養護、家庭養護、施設養護、子供の人權、虐待、里親、権利擁護、個別支援計画						
授 業 の 概 要	児童福祉施設を利用している子どもたちの生活の様子や心情を理解するために、援助者として必要な知識や心構えを身につけます。また、児童親や施設養護親などを養うことにより、利用者が安心して生活が送れるように、生活プログラムの作成や事例研究などを通して、望ましい援助の在り方などを学習します。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 児童福祉施設等の利用者に対し、保育士として望ましい支援や援助ができるように、支援者として必要な知識や心構えを習得します。 【到達目標】 (1)社会的養護における児童の権利擁護や保育士に求められる資質について理解する。 (2)施設養護等の社会的養護の実践について理解する。 (3)個別支援計画の作成と具体的な支援内容について理解する。 (4)社会的養護に関わるソーシャルワークの方法や技術について理解する。 (5)児童家庭福祉、地域福祉等について理解する。						
授業の方法等	教育実習3週間分を除く、12回の授業を行います。 演習科目なので、講義の他に事例に関わるグループ討議、報告発表等を行い、学生が主体的に参加する授業展開を目指します。						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教 科 書	「新基本保育シリーズ⑩社会的養護Ⅱ 容」相澤・村井・大竹編、中央法規、2,000円(税別)						
参 考 書	厚生労働省ホームページ						
関 連 科 目	社会的養護、施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等で対応します。						
履 修 上 の 注 意	グループ討議や講義等の記録、配付した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	子どもの権利擁護	
	1	〈予習〉子どもの権利擁護に関する報道や虐待などの情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	2	社会的養護における子どもの理解 〈予習〉児童福祉施設等にかかわる報道や虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	3	施設養護の生活特性および実際①乳児院等 〈予習〉提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	4	施設養護の生活特性および実際②障害児施設等 〈予習〉提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	5	家庭養護の生活特性及び実際 〈予習〉虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	6	アセスメントと個別支援計画の作成 〈予習〉自立支援計画に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	7	記録および自己評価 〈予習〉個人情報の保護と守秘義務に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	8	社会的養護における保育の専門性に関わる知識・技術とその実践 〈予習〉社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 〈復習〉事例分析の整理 45分
	9	社会的養護に関わる相談援助の知識・技術とその実践 〈予習〉提出課題の調査 45分 〈復習〉事例分析の整理 45分
	10	社会的養護におけるソーシャルワーク(知識・技術とその応用) 〈予習〉ジェノグラムやエコマップについて調べる。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	11	社会的養護における家庭支援 〈予習〉支援が必要な家庭についての情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	12	今後の社会的養護の課題と展望 〈予習〉提出課題の調査 45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	保育・教育相談の方法			教員名	原田 友毛子		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育相談支援〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔・幼児理解の理論及び方法・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。〕の理論及び方法〕						卒業認定・学位授与方針
							DP2
授業内容を示すキーワード	幼児理解、記録、評価、幼小連携、子育ての現状、保護者支援、保育・教育相談支援						
授業の概要	○保育・教育相談支援、幼児理解と評価の実践について事例を通して学ぶ。 ○保育・教育相談の基本について、原則や実際の進め方について学ぶ。 ○保育・教育相談のスキルやその技術を磨くための方法について学ぶ。 ○事例を通して保護者対応について考え、ロールプレイ等で具体的に学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ①幼児を理解することの基本的な知識を身に付ける。 ②保育・教育相談とはどういうものなのかについて理解する。 ③保育・教育相談を行う際の基本的な技術について具体的に学ぶ。 ④保育・教育相談に欠かすことのできない記録や評価について理解する。 ⑤研修会の持ち方などについて実際に体験を通して理解する。 ⑥保育・教育相談の事例検討を通して基本的な対応の仕方を理解する。 ⑦児童福祉施設等での保育・教育相談の事例について理解する。 ⑧関係機関との連携や協力について学ぶ。						
	【到達目標】 ○幼児を理解し肯定的に見る目を養うことができる。 ○保育・教育相談の理論について主体的に考えることができる。 ○保育・教育相談の具体的な技法について実践することができる。 ○保育・教育相談の際に必要な記録や評価について基本的な記述を行うことができる。 ○事例検討会などの方法を実際に体験し基本的な留意点などについて理解できる。 ○保育所以外の施設での相談の対応について理解することができる。 ○幼小連携について保育・教育相談に関連した方策を考えることができる。						
授業の方法等	・毎回、指定された人は前時の振り返りについての発表をおこなう。 ・教科書やレジュメの事例に対してどのように対応するかについて個人で考える。 ・グループになって具体的な対応を討議し、より適切な対応について理論を基に考える。 ・場面によっては保育者と保護者などの役割でロールプレイングを体験し実践を通して理解を深める。 ・これらはアクティブラーニングの手法に基づいておこなう。 ・本時の学びについて振り返りカードにまとめる。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 20%						
教科書	「保育相談支援」 小林育子 萌文書林						
参考書	幼児理解と評価〔平成22年改訂版〕 文部科学省（ぎょうせい）、演習・保育と相談援助（みらい） 幼稚園教育要領解説〔平成30年〕文部科学省、保育所保育指針解説〔平成30年〕厚生労働省						
関連科目	相談援助 カウンセリング論 特別支援教育論						
質問受付の方法	授業中、授業前後、レスポンスカードへの記載等、随時受け付ける。						
履修上の注意	核家族化や少子化によって、保護者は育児について体験者から実際に聞くという場面が減少してきています。私達は子どもの育ちについての悩みや心配事を打ち明けてもらえるような保育者を目指します。それは子どもの発達成長に寄与するばかりでなく、その家族をより健全に導くものでもあるからです。近年散見される虐待等でも一番早くキャッチできるのが私達です。保育・教育相談の理論と技法を身に付けるべく、主体的に演習に取り組むことを期待します。 授業で配布されるレジュメやレスポンスカードの管理などは丁寧に保管してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	保育・教育相談(保育相談支援)とは 授業のオリエンテーション
1	〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
2	保育所の特性を生かした保育・教育相談 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
3	子どもの最善の利益 保護者の養育力の向上 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
4	信頼関係を基本とした受容的かわり、守秘義務・自己決定 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
5	より効果的な保育・教育相談をするために 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
6	保育・教育相談の実践（主訴 経過と対応 アセスメント 対応 介入）専門機関との連携 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
7	保育・教育相談の技術と留意点（受容 繰り返し 明確化 支持 質問）援助者の自己理解 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
8	電話やメール(SNS)を通した相談の技術と留意点 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
9	記録と評価(記録することの意義と実際) スーパービジョン ケース会議 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
10	保育所の保育・教育相談の事例 ケース会議の実際 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
11	発達の流れ・気になる行動についての相談事例 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
12	就学に向けての相談事例（友だち関係・私立受験等） 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
13	育児不安・虐待・家族関係・外国籍保護者等の相談事例 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
14	児童福祉施設等の相談事例 試験に向けてのまとめ 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 90分
15	発達支援センター 地域の療育センター等の相談事例 試験に向けてのまとめ 〈予習〉教科書の熟読 90分 〈復習〉レジュメの見直しやまとめ 試験対策(可能な限り)
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	保育・教育課程論			教員名	新井 英人		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育課程論〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育課程の意義及び編成の方法〕					卒業認定・ 学位授与方針	
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領						
授 業 の 概 要	幼稚園及び保育所におけるカリキュラムを考え、保育士養成課程の保育課程論と幼稚園教諭養成課程の教育課程論について学ぶ。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 幼稚園及び保育所における、カリキュラムを理解し、実際のカリキュラムに沿って指導計画が作成できる保育者としての専門的な知識・技能を養う。 【到達目標】 上記のねらいを達成するために、各カリキュラムについて理解し、保育士・幼稚園教諭として資質の向上と子どもたちのために、カリキュラムからしっかり指導計画の作成ができるようにする。						
授業の方法等	講義形式で進める。できるだけ具体的な内容の提示をし、理解を深めていく。授業時間内において、レポートの提出を行うほか筆記試験を実施する。						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教 科 書	保育者養成シリーズ「教育・保育課程論」(株)一藝社 高橋弥生・大沢裕 編著						
参 考 書	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」						
関 連 科 目	保育・教育職の研究、教育方法・技術論、保育内容総論						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等で対応する。						
履 修 上 の 注 意	講義の記録、配付した印刷物等はA4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	カリキュラムの意味と特徴について	
	1	〈予習〉教科書第1章1を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	2	保育・教育課程の必要性について 〈予習〉教科書第1章3を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	3	保育における指導計画について 〈予習〉教科書第2章1・2を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	4	指導計画作成の基本について 〈予習〉教科書第3章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	5	計画に必要な子ども理解について 〈予習〉教科書第4章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	6	幼稚園における教育課程と指導計画について 〈予習〉教科書第5章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	7	保育所の全体的な計画と指導計画について 〈予習〉教科書第6章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	8	認定こども園における教育・保育課程と指導計画について 〈予習〉教科書第7章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	9	0歳児の指導計画について 〈予習〉教科書第8章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	10	1～2歳児の指導計画について 〈予習〉教科書第9章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	11	3～5歳児の指導計画について 〈予習〉教科書第10章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	小学校へのつながりについて 〈予習〉教科書第11章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	13	行事を生かす保育について 〈予習〉教科書第12章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	14	さまざまな保育方針と保育・教育課程 〈予習〉教科書第13章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	15	保育の質を高める計画と評価について 〈予習〉教科書第15章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	子どものアート			教員名	有賀 誠二		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	○保育士資格選択必修					卒業認定・ 学位授与方針	DP2
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	伝達、色、形、素材、技法						
授 業 の 概 要	「アート」とは色、形、素材、技法を通して、人や社会とコミュニケーションを取ることです。この授業では制作を通して伝達表現を学んでいきます。						
授業のねらいと 到 達 目 標	【ねらい】 身の回りにあるものを例にとり、そこに用いられているルールや技法を理解し、制作につなげられるようにする。 【到達目標】 目的にあった表現ができるようになること。素材や道具の適切な扱い方を知り、確実な造形ができる、また指導ができるようになること。						
授業の方法等	教育実習3週間分を除く12回授業を、講義と演習形式で行う。 考え方や手順の説明の後、実際に制作していきます。 制作の体験を通して感じた問題点、感想及び発展のアイデア等簡単なレポートにまとめます。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔筆記〕15% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 65% ■その他〔授業内レポート〕10%						
教 科 書	適宜、資料を配布						
参 考 書	適宜紹介、資料を配布						
関 連 科 目	図画工作、造形表現						
質 問 受 付 の 方 法	授業の前後、授業時に直接						
履 修 上 の 注 意	受講に必要な道具、素材は予め指示します、必ず忘れないように持って来て下さい。 筆記用具は毎回必ず持参して下さい。B、HBの鉛筆を用意して下さい。 課題作品の制作は時間内に終わらせて下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション。課題説明、サインボード制作①/文字の考察(ひらがな) 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、制作 45分
	2	サインボードの制作②/文字の考察(数字)、色の考察。 〈予習〉前回の講義内容の確認 20分 〈復習〉制作 70分
	3	サインボードの制作③/サインボードをデザインし制作。 〈予習〉予めデザインを考える 45分 〈復習〉ベース部分を仕上げる 45分
	4	サインボードの制作④/簡単な転写、紙の適切な選び方、接着剤の適切な使用法を学ぶ。 〈予習〉予めデザインを考える 45分 〈復習〉作品を完成させてレポートを添付する 45分
	5	紙箱の制作①/紙工作の基礎を学ぶ。のりしろの作り方を学ぶ。 〈予習〉必要な道具を考え用意する 20分 〈復習〉制作 70分
	6	紙箱の制作②/デザインを考える。 〈予習〉前回の講義を参考に必要な道具を揃える 20分 〈復習〉制作 70分
	7	紙箱の制作③/箱の表面の装飾方法を学ぶ。 〈予習〉20分 〈復習〉紙箱を組み立て、色紙を貼る 70分
	8	紙箱の制作④/制作続き、完成。 〈予習〉完成までに必要な材料と道具を揃える 20分 〈復習〉箱を完成させてレポートを添付する 70分
	9	総合課題 テーマに沿ったオリジナル作品の制作①/半期を通して学んだ事を応用しデザインを考える。 〈予習〉課題の説明。20分 〈復習〉アイデアを考える70分
	10	テーマに沿ったオリジナル作品の制作②/実制作。 〈予習〉今までの内容を復習する 20分 〈復習〉デザインを決めて制作 70分
	11	テーマに沿ったオリジナル作品の制作③/制作続き。 〈予習〉完成までに必要な材料と道具を揃える 20分 〈復習〉作品制作 70分
	12	テーマに沿ったオリジナル作品の制作④/制作、完成。試験対策。 〈予習〉完成までに必要な材料と道具を揃える 20分 〈復習〉完成作品の提出 70分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分/完成させたオリジナル作品 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	リトミック・リズム運動			教員名	鴨志田 加奈		
配 当 年 次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	○保育士資格選択必修						卒業認定・ 学位授与方針 DP2
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	身体性・表現・ダンス・創作・発表						
授 業 の 概 要	身体表現について発展的に学ぶ。踊ることの意義や文化的背景について知識を深めながら、実技としてバレエ・ジャズダンス・テーマパークダンス・シアターダンス等に取り組み、身体性と表現力を身につける。グループでダンスの創作・発表を行い振付についての経験を深める。						
授業のねらいと 到 達 目 標	【ねらい】 ダンス文化に関する知識・専門的な技術・表現方法を学び、身体性と表現力を向上させ保育者としての資質を高めることをねらいとする。 【到達目標】 ①身体表現や音楽等についての文化的教養を身につける。 ②充実した表現経験を持って、子どもたちとの表現活動に対する応用力を身につける。 ③身体性と表現力を向上させる。						
授 業 の 方 法 等	教育実習1週間分を除く、14回の授業を行います。 実技、講義、ビデオ視聴、グループワーク。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔レポート〕20% ■授業への取り組み・態度 40% ■提出物 10% ■その他〔授業内発表〕30%						
教 科 書	使用しない						
参 考 書	授業にて適宜紹介します						
関 連 科 目	幼児体育・身体表現						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、研究室等で受け付けます						
履 修 上 の 注 意	日常から身体表現や音楽表現に興味を持って、音楽・映像鑑賞、パフォーマンスを観る等、積極的に表現に触れる機会を作ってください。日常から体を動かす習慣を身につけてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション ダンスと文化（講義）
	1	〈予習〉ダンスについて調べる 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	2	バレエ基礎1 パーレッスン 〈予習〉バレエ動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	3	バレエ基礎2 ターン・ジャンプ 〈予習〉バレエ動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	4	ジャズダンス基礎1 アイソレーション 〈予習〉ジャズダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	5	ジャズダンス基礎2 クロスフロア・ステップ 〈予習〉ジャズダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	6	テーマパークダンス基礎1 コンビネーション1 〈予習〉テーマパークダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	7	テーマパークダンス基礎1 コンビネーション2 〈予習〉テーマパークダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	8	シアターダンス基礎1 コンビネーション1 〈予習〉シアターダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	9	シアターダンス基礎2 コンビネーション2 〈予習〉シアターダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	10	シアターダンス基礎3 発表 〈予習〉発表に向けた練習 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	11	ダンス創作1 グループ・楽曲決め 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・創作) 45分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 45分
	12	ダンス創作2 振付 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・創作) 45分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 45分
	13	ダンス創作3 振付完成 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・創作) 45分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 45分
	14	ダンス作品の発表 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・創作) 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 成績通知日等にコメント追記したものを返却 〕	

教職に関する科目

授 業 科 目 名	保育・教職実践演習（幼稚園）＊			教員名	橋本 淳一／今村 麻子		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔 保育実践演習 〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔 教職実践演習 〕					卒業認定・学位授与方針	DP2
授業内容を示すキーワード	保育者としての資質・能力 フィールドワーク グループワーク ロールプレイ ICT ビデオ録画						
授業の概要	幼稚園教諭・保育士として求められる使命感や責任感、社会性や対人関係能力、幼児理解や学級経営、保育内容等の指導力などに関する事項について、特に現場経験のある教員からその職務経験を生かしたフィールドワーク(保育実践)、グループワーク(壁面製作)、ロールプレイなどの実践的な学びを取り入れながら授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園教諭・保育士として最小限必要な資質能力の全体について、確実に身につけるとともに、その資質能力の全体を確認する。 【到達目標】 学生が、教員・保育者となる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能等を補い、その定着を各自で図る。						
授業の方法等	講義、演習、ディスカッション、フィールドワーク、ロールプレイ、グループワークと多様な形式で進めます。また、ITCを活用した授業として、幼稚園・保育所・つどいの広場等での保育実践（フィールドワーク）などでは、その実践の様子をスマートフォン等でビデオ撮影し、その様子をプロジェクターに提示して改善点や工夫点等を議論するとともに、レポート提出はウェブアンケートシステムを利用するなど、双方向型授業を意図したものとします。						
成績評価の基準と方法	■定期試験（レポート） 30％ ■授業への取り組み・態度 20％ ■その他〔 課題・発表 〕 50％						
教科書	特に使用しません。						
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ 施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方	担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	履修カルテの作成と保育実践でのビデオ撮影とプロジェクター上映は必須です。なお、ビデオ撮影は各自のスマートフォン利用を原則とします。また、自主学習支援として、保育実践に関するグループでの事前自主学習で撮影映像を担当教員に随時送信可とし、適宜アドバイスを受けることができます。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	これまでの教育実習・保育実習における学修の振り返りについて（履修カルテⅠ・Ⅱの作成）と自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認と自己課題の設定 〈予習〉実習での学修を振り返る90分 〈復習〉自己課題を認識し今後の学修を計画する90分 教職や保育職の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、あるいは、社会性や対人関係能力等についてのグループ討議とロールプレイ（模擬授業） 〈予習〉教職や保育職の意義・役割・職務等を考える90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る90分 保育内容等の指導法・指導力についてのグループ討議とロールプレイ（模擬授業） 〈予習〉保育内容等の指導法・指導力を考える90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る90分 保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク（壁面製作）での探求① 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する90分 保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク（壁面製作）での探求② 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する90分 保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク（壁面製作）での探求③ 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する90分 幼児理解や学級経営についてのグループ討議とロールプレイ（模擬授業） 〈予習〉幼児理解や学級経営を考える90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る90分 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク（保育実践）による探究① ～つどいの広場 〈予習〉フィールドワークを準備する 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する90分 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク（保育実践）による探究② ～幼稚園 〈予習〉フィールドワークを準備する 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する90分 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク（保育実践）による探究③～保育所 〈予習〉フィールドワークを準備する 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する90分 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク（保育実践）による探究④ ～幼稚園 〈予習〉フィールドワークを準備する 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する90分 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク（保育実践）による探究⑤ ～保育所 〈予習〉フィールドワークを準備する 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する90分 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク（保育実践）による探究⑥ ～つどいの広場 〈予習〉フィールドワークを準備する 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する90分 ロールプレイ・グループワーク・フィールドワークを通した実践的指導力修得の相互評価 〈予習〉自他の実践的指導力を振り返る90分 〈復習〉他者評価から実践的指導力を振り返る90分 幼稚園教諭・保育士としての資質の確認とまとめ 〈予習〉自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認90分 〈復習〉自らの課題を再設定する90分
定 期 試 験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック（成績発表時にコメントを入れ返却します）	

保育表現技術科目

授 業 科 目 名	生活			教員名	野口 一夫		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状選択必修						卒業認定・学位授与方針 －
授業内容を示すキーワード	幼保小の連携 あそびも学習 自立の基礎 体験活動(地産地消・食育・エコ) 自然とあそぶ						
授業の概要	「生活科」は平成4年度から小学校低学年に新設された教科。この教科誕生の背景の一つに保育所や幼稚園のいわゆる幼児教育と小学校教育との接続・連携がある(新教育要領・保育指針・こども園教育保育要領にも明記)。授業では「生活科」の趣旨・内容の理解を通して、改めて幼児教育の特性を再認識し、保育の視点を明らかにする。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ファームで野菜を育てて現場で役立つ実践力を養い、自然(風・音)と遊びながら、「エコカルタづくり」を通して環境との関わりを学び、保育園・幼稚園と小学校の連携のあり方を習得することができる。 【到達目標】 幼児教育と小学校教育との接続・連携の重要性を認識し、幼児教育の特性を再認識するとともに「自立の基礎を養う」意義を理解することができる。						
授業の方法等	ファームでの観察(土づくり、追肥、除草、収穫、収穫祭) VTR・DVD視聴						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30 %						
教科書	不使用						
参考書	○啓林館「生活科」教科書 野口一夫 共著 ○「子供と創る楽しい授業」野口一夫 共著 ○「生活科指導」ビデオ 野口一夫他製作 ○「環境・エコへの道標」野口一夫 著						
関連科目	子ども文化演習B レクリエーション・野外活動						
質問受付の方法	担当教員 随時						
履修上の注意	レポートは毎回提出 レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意 ※ファームで活動ができる服装(ジャージ、スニーカー等) 色鉛筆						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	「生活科」とは、なぜ学ぶのか ～あそびも学習 1 〈予習〉小学1・2年の頃を想起 90分 〈復習〉なぜ学ぶのかについて整理 90分 2 「生活科」で行う学習 ～配付資料から 五感を使って VTR視聴 〈予習〉「生活」に関連する書物を探し読む 90分 〈復習〉学習のイメージを構築 90分 3 みんなで育てよう！野菜①～苗、種の観察 〈予習〉食卓の野菜について調査 90分 〈復習〉他の野菜の苗や種を調査 90分 4 みんなで育てよう！野菜②～成長の観察 〈予習〉ファームで苗・野菜の観察 毎日15分程度 〈復習〉ファームで苗・野菜の観察、水やり、除草 毎日15分程度 5 自然とあそぼう①～笹舟・草笛・紙笛 紙や葉っぱであそぼう 〈予習〉笹舟の作り方を調査 90分 〈復習〉再度あそぶ 90分 6 自然とあそぼう②～折り紙ヒコーキ・発泡スチロールペーパー 〈予習〉折り紙ヒコーキについて調査 90分 〈復習〉発泡スチロールペーパーで再度挑戦 90分 7 学内の植物(樹木・草花) 〈予習〉表示板を見ながらフィールド学習 90分 〈復習〉再度各自でフィールド学習 90分 8 野菜の観察と気付き ～ハルジオンとヒメジョオンの違い ネイチャーゲームを楽しもう 〈予習〉各自の家の周りで観察 90分 〈復習〉仲間とネイチャーゲームを再度実践 90分 9 生活と環境① エコカルタの企画 環境関連DVD視聴 エコライフ 省エネ等 〈予習〉カルタについて調査 90分 〈復習〉カルタで遊ぶ効果を考察 90分 10 生活と環境② エコカルタ作成 〈予習〉読み札・取り札の工夫 90分 〈復習〉カルタの感性 90分 11 生活と環境③ エコカルタあそび 〈予習〉楽しく遊ぶ工夫 90分 〈復習〉再度仲間と実践 90分 12 実践と展開① エコ(ゴミ箱・バッグ)づくり 〈予習〉作り方の調査 90分 〈復習〉「マチ」の役割りと重要性の理解と再度作成 90分 13 実践と展開② DVD(エコクッキング)視聴と準備 〈予習〉エコクッキングとは何かの調査 90分 〈復習〉エコクッキングの効用の理解 90分 14 実践と展開③ エコクッキング～収穫野菜でバーベキュー 〈予習〉包丁の使い方の実践 90分 〈復習〉食育の理解と家で実践 90分 15 振り返り ポップコーンパーティ 〈予習〉今までの学習の振り返り 90分 〈復習〉スイートコーンとの違いを理解 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

保育者の資質を高める科目

授 業 科 目 名	総合演習 *			教員名	福泉 博子/橋本 夏夫 今村 麻子/新井 英人		
配 当 年 次	2	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係						卒業認定・ 学位授与方針	DP4
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	体験学習、行事、園行事、キャリア教育、コミュニケーション能力、ナチュラル保育検定、やまたんテキスト						
授 業 の 概 要	基礎演習に引き続き、体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度・学びの方法・挨拶、マナー、コミュニケーション能力等を一層向上させ、社会人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について学習します。 幼稚園、小学校教諭等の実務経験を有する教員からその経験を生かした、具体的・実的な授業を行う。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 行事の企画・運営を通して園行事の実践的な能力を習得し、宿泊研修や体験学習を通じて保育者として必要な資質を向上し、社会人としての自覚や職業観を習得します。 【到達目標】 (1)幼稚園、保育園などで実施される行事の企画・運営に必要な実践的な保育能力を身に付けることができる。 (2)宿泊研修や体験学習等を通して社会人として必要な職業観・使命感等を身に付けることができる。						
授業の方法等	教育実習3週間分(前期)を除く、通年27回の授業を行います。 学内での講義、演習、グループワーク、学外でのフィールドワーク、体験学習など多様な授業形態で実施します。						
成績評価の 基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教 科 書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配付します。						
参 考 書	やまたんテキストVol.3、Natural保育検定テキスト。その他必要な資料は適宜指示します。						
関 連 科 目	基礎演習、スキルアップセミナーⅡ、実施指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、子ども文化演習C						
質 問 受 付 の 方 法	各担任に随時間いてください。						
履 修 上 の 注 意	総合演習(第1時限)とスキルアップセミナーⅡ(第2時限)は、行事や実習の日程に合わせて2時限連続で一体的に授業展開する場合があります。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	カリキュラム理解・2年オリエンテーション		後期オリエンテーション、建学の精神表彰
	1	〈予習〉学生便覧(学生生活の案内、科目一覧)を熟読する 90分 〈復習〉今後の学習等についてまとめる 90分	13 〈予習〉建学の精神等について理解する 90分 〈復習〉後期の学習等についてまとめる 90分
	2	クラスゼミ(新しいクラスづくり) 〈予習〉クラスづくりについて考える 90分 〈復習〉振り返り 90分	14 運動会リハーサル 〈予習〉仕事内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	3	クラスゼミ(新しいクラスづくり) 〈予習〉クラスづくりについて考える 90分 〈復習〉振り返り 90分	15 運動会 〈予習〉種目等を確認する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	4	防災避難訓練、学生総会 〈予習〉目的等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	16 双子ちゃん集まれの準備 〈予習〉目的等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	5	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習 〈予習〉テキストを熟読する 90分 〈復習〉ワークシートをまとめる 90分	17 双子ちゃん集まれ 〈予習〉活動内容等を確認する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	6	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉目的等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	18 クラスゼミ(クリスマス会準備) 〈予習〉目的等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	7	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	19 クラスゼミ(クリスマス会準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	8	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定 〈予習〉テキスト等を活用した事前学習 90分 〈復習〉テストの振り返り 90分	20 クラスゼミ(クリスマス会準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	9	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	21 実習報告会(1・2年合同) 〈予習〉実習経験を振り返る 90分 〈復習〉ワークシートにまとめる 90分
	10	山緑祭振り返り、小川町七夕準備 〈予習〉目的等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	22 ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習 〈予習〉テキストを熟読する 〈復習〉ワークシートをまとめる 90分
	11	前期試験に向けて、建学の精神・学習ゼミ希望等アンケート 〈予習〉学習ゼミの内容等を理解する 90分 〈復習〉試験計画、アンケート記入 90分	23 ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定 〈予習〉テキスト等を活用した事前学習 90分 〈復習〉テストの振り返り 90分
	12	運動会準備 〈予習〉目的等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	24 クラスゼミ(クリスマス会準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
定 期 試 験			25 クリスマス会リハーサル 〈予習〉活動内容等を確認する 90分 〈復習〉振り返り 90分
			26 クリスマス会振り返り 〈予習〉反省点を残しておく 90分 〈復習〉振り返りを確認する 90分
			27 「建学の精神」等アンケート 〈予習〉建学の精神等について読み返す 90分 〈復習〉今後の生活についてまとめる 90分
定 期 試 験		◆定期試験は行わない	◆定期試験は行わない

授 業 科 目 名	乳児小児救命法			教員名	橋本 夏夫/マスターワークス		
配 当 年 次	2	開講時期	後期集中	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係						卒業認定・ 学位授与方針	
						—	
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	乳児、小児、救命法、心肺蘇生法、けが・事故・病気、手当						
授 業 の 概 要	保育環境においては、睡眠時の呼吸停止や窒息、溺水など、生命にかかわる緊急時への対応が最も重要であり、さらに日常的なけがや急病への適切な対応と手当ての仕方を知得しておくことが必要となる。 本授業は生命の優先順位に基づき、現場の手順に沿って救命・応急処置の講義、実習を行う。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 この授業の目的は、乳幼児の保育現場における事故防止と、万一の緊急時に医師や救急隊に引き継ぐまでの応急手当を知得することである。						
	【到達目標】 全ての授業に出席することにより、希望者はL.S.F.A.-Children's(小児用BLSプログラム)の「FIRSTAIDER with CPR Training Certificate」認定カードを申請し、取得することができる。 認定を取得すると、L.S.F.A.本部により2年間にわたり訓練内容が証明される。						
授業の方法等	こどもの事故や急病における現場の行動手順に沿い、Step-bay-step で進める。 短時間の講義を行った後、該当する実技演習を行う。 なお心肺蘇生については2015年末に改訂された最新ガイドラインに準拠した実習を行う。						
成績評価の 基準と方法	■試験〔実技〕20% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔事前・事後レポート・中間試験 各20点×3〕60%						
教 科 書	「こどもの事故と応急手当」第6版(吉田一心/伊東和雄 著、2017年1月1日発行) ※購入方法については後日指示する。						
参 考 書	適宜紹介、資料を配布する。						
関 連 科 目	子どもの保健Ⅰ・Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	研究室・講習中随時						
履 修 上 の 注 意	運動できる服装・髪型で参加すること。 遅刻・欠席・私語・居眠り等は、内容理解不足として不認定になる場合があります。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		事前指導・受講上の留意点、子どもの安全と事故事例、及び法的責任に関する法令について
	1	〈予習〉シラバスと事前に配布するプリントを基に内容を確認する。90分 〈復習〉当日配布のプリントをまとめる。90分
	2	こどもの事故の現状と応急手当の必要性、こどもの事故防止、119番通報の仕方 〈予習〉教科書P3-9 事故防止と応急手当の役割を確認。90分 〈復習〉教科書P6 事故の危険性をリストアップ。緊急連絡用カードを完成させる。90分
	3	保育環境における突然死の実態と予防方法について、事故現場の観察と接触(安全確保、感染予防) 〈予習〉事前配布の突然死予防資料と教科書P12-13感染防止の方法を確認する。90分 〈復習〉保育睡眠中の安全管理方法をリストアップ。事故現場に遭遇した際の4つのステップをまとめる。90分
	4	生の徴候の調査(反応、呼吸、出血の調査)、反応がないこどもの手当(気道確保と回復体位) 〈予習〉教科書P15-16 脳への酸素供給の重要性とP20-22意識不明者への気道確保の方法を確認。90分 〈復習〉緊急性の評価(赤、黄、緑)をまとめる。呼吸管理の重要性を再確認。90分
	5	心肺停止の手当(乳児、小児の心肺蘇生/CPR) 〈予習〉教科書P25-29 乳児、小児への心肺蘇生の手順および胸骨圧迫、人工呼吸の方法を確認。90分 〈復習〉心肺蘇生の手順とスキルをまとめる。心原性心停止と呼吸原性心停止の違いをまとめる。90分
	6	心肺蘇生とAEDの使用 〈予習〉教科書P36-39 AEDのメカニズムと使用方法を確認。90分 〈復習〉乳児、小児への心肺蘇生とAED使用の手順をまとめる。90分
	7	気道内異物の除去(乳児、小児) 〈予習〉教科書P42-44 乳児と小児の窒息時の手順と手当の方法を確認する。90分 〈復習〉気道内異物除去方法と、窒息事故防止についてまとめる。90分
	8	止血とショック管理(止血法、保温法) 〈予習〉教科書P47-50 止血の方法とショックの徴候・症状を確認する。90分 〈復習〉直接圧迫による止血方法を再確認する。保温の必要性についてまとめる。90分
	9	全身のけがの調べ方、各部のけがと応急手当(頭、首、胸、腹のけが、傷と包帯、骨折、熱傷など) 〈予習〉教科書P52-55 けがの調査17項目とP58-69 けがの応急手当を確認。90分 〈復習〉17項目のけがの確認方法をまとめる。生命に関わるけがの注意点をまとめる。90分
	10	中間指導 10回目までの内容を確認するため筆記試験とフィードバック 〈予習〉10回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉ワークシートをまとめる。90分
	11	こどもの急病の調査(脈拍、呼吸、体温、顔色など) 〈予習〉教科書P70 4つの調査項目を確認する。90分 〈復習〉脈拍、呼吸、体温、顔色の観察方法をまとめる。90分
	12	こどもの病気の手当(熱中症、発熱、けいれん、腹痛、脱水、アナフィラキシー、中毒など) 〈予習〉教科書P72-83 こどもに起こる急病と手当を確認する。90分 〈復習〉保育園でよく起こりうる熱中症、けいれん、アナフィラキシーへの対応方法をまとめる。90分
	13	生物によるけが、こどもの虐待、災害時の注意 〈予習〉教科書P84-94 生物によるけが、中毒、災害時の対応について確認する。90分 〈復習〉野外活動の際に注意すべき生物のけがについてまとめる。90分
	14	心肺蘇生実技評価セッション(乳児、小児) 〈予習〉実技評価表を使用し、乳児・小児への心肺蘇生手順とスキルを確認する。90分 〈復習〉実技評価の結果から、改善の必要な手順とスキルを再確認する。90分
	15	事後指導 3日間のまとめ、振り返りシートへの記入 〈予習〉10-15回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉ワークシートをまとめる。90分
試 験		◆試験〔実技〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔試験の講評を行う〕30分

授 業 科 目 名	子ども文化演習B			教員名	新井 英人/井上 満		
配 当 年 次	1・2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係							卒業認定・学位授与方針 －
授業内容を示すキーワード	自然、グループリーダー ネイチャーゲーム いつでもだれでも						
授業の概要	自然を直接体験するプログラムや各種のゲームを体験しながら、仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所・幼稚園で活用できるレクリエーション・野外活動を、ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験しながら身に付け、人や自然を深く愛し慈しむことのできる骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎を培う。 【到達目標】 ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験する中で、リーダーとしての資質を向上させ、園での円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授業の方法等	グループリーダーを中心に、個人、少人数、大勢とバリエーションを変えながら楽しく活動する。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕 80％ ■授業への取り組み・態度 20％						
教科書	「こどもと自然とネイチャーゲーム」 1,650円 ※購入方法については授業時に指示する。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
関連科目	レクリエーション・野外活動						
質問受付の方法	授業の前後で行う。						
履修上の注意	運動ができる服装、シューズを用意する。資格取得には若干の費用が掛かる。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		ネイチャーゲームの概要、講義内容について、仲間作りゲーム〔担当：井上〕
	1	〈予習〉様々な動物の特徴について調べておく 90分 〈復習〉プリントを読みまとめる 90分
	2	動物の特徴に気付くネイチャーゲーム〔担当：井上〕 〈予習〉カモフラージュとはどんなものか調べておく 90分 〈復習〉個々の動物の生態についてまとめる 90分
	3	生き物の知恵に気付くネイチャーゲーム〔担当：井上〕 〈予習〉人間の持つ五感について他の生き物との違いを調べておく 90分 〈復習〉動物の生きる知恵についてまとめる 90分
	4	観察力を高めるネイチャーゲーム、ネイチャーゲームの理念〔担当：井上〕 〈予習〉ハンドブックP14～34を読んでおく 90分 〈復習〉ネイチャーゲームとは何かまとめておく 90分
	5	身近な自然の美しさや不思議さに気付くネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム実践法〔担当：井上〕 〈予習〉ハンドブックP35～41を読み安全対策について調べておく 90分 〈復習〉下見の重要性についてまとめておく 90分
	6	他の人の感性に気付くネイチャーゲーム、安全対策〔担当：井上〕 〈予習〉P42～57を読んでおく 90分 〈復習〉実践時の安全対策についてまとめておく 90分
	7	生き物の生態について考えるネイチャーゲーム、ネイチャーゲー指導員制度〔担当：井上〕 〈予習〉指導実習のシミュレーションをしてみる 90分 〈復習〉指導員の心構えをまとめておく 90分
	8	現場で使えるネイチャーゲーム、実践例を読む〔担当：井上〕 〈予習〉指導実習のシミュレーションをしてみる 90分 〈復習〉アドバイスシートを読み指導法を振り返る 90分
	9	感覚を研ぎ澄ますネイチャーゲームと指導実習〔担当：井上〕 〈予習〉ネイチャーゲームの理論をまとめる 90分 〈復習〉どんな場面で使えるか具体的な場面を考える 90分
	10	全体のふりかえりとまとめ、(リーダー登録者は検定試験を兼ねる)〔担当：井上〕 〈予習〉体験したことがどこで生かされるか考えておく 90分 〈復習〉ネイチャーゲームについてまとめる 90分
	11	自然講座 パート1 樹木〔担当：新井〕 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の樹木について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	自然講座 パート2 草花〔担当：新井〕 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の草花について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	13	自然講座 パート3 動物〔担当：新井〕 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の動物について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	14	レクリエーション パート1 歌遊びゲーム〔担当：新井〕 〈予習〉前時に配付したプリントにより学習内容を理解する 90分 〈復習〉プリントをまとめ、ゲームを行う 90分
	15	レクリエーション パート2 頭のゲーム〔担当：新井〕 〈予習〉前時に配付したプリントにより学習内容を理解する 90分 〈復習〉プリントをまとめ、ゲームを行う 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕 60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕 30分	

授 業 科 目 名	子ども文化演習C			教員名	鴨志田 加奈 橋本 夏夫／福泉 博子		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係						卒業認定・ 学位授与方針	－
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	総合的な表現、表現の過程、創造性、協働性、表現力、コミュニケーション、表現技術、保育者としての資質						
授 業 の 概 要	劇の特徴は、言語表現・造形表現・身体表現・音楽表現などを融合しながら、物語の世界を総合的に表現することです。この表現に対する総合的な捉えは、子どもたちのごっこ遊びやイメージの世界を理解する上で必要不可欠な視点です。 本授業では2年間の学びを活かしながら、子どもたちが鑑賞する事を目的とした劇を創作・実演します。子どもの心性に基づき意図をもって作品を創作すること、実際に自身が舞台上で表現することを通して、総合的な表現の重要性・表現の過程の重要性や演出法・制作技術・各種効果等を学び、保育者としての資質と専門性を高めていきます。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 子どもたちが鑑賞する事を目的とした劇作品について意図をもって創作・実演する感性と具体的な技術を身につけること、この体験過程を通して自身の表現力、コミュニケーション能力、創造力、問題解決能力等の実態に気づくこと、それらの能力を向上させることをねらいとする。 【到達目標】 ①子どもの感性や総合的な表現の意義を理解する。 ②自身の表現力・表現技術を身につける。 ③演出法・制作技術・各種効果等について具体的な方法を身につける。 ④仲間との協働の重要性を理解し粘り強く取り組むことができる。 ⑤具体的な役割や計画のもとにプロジェクトを遂行できる。						
授業の方法等	講義、制作、実技、演習、発表、グループワーク						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔レポート〕20% ■授業への取り組み・態度 70% ■提出物 10%						
教 科 書	使用しない						
参 考 書	適宜紹介する						
関 連 科 目	身体表現、音楽表現、造形表現、保育内容ABCD						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	責任のある行動を求めます。報連相に努め、チームの一員という自覚をもって取り組んでください。授業中・授業外共にグループ活動への積極的な参加、自主的な練習が求められます。日常から表現に興味を持って、積極的にジャンルを問わず様々な表現に触れる機会を作ってください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション(子どもの心性と総合的な表現の理解) 劇制作組織を学ぶ 演出部の選出
	1	〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	2	全体ワークショップ①(演出法・制作技術・音響照明効果) 演出部:題材の検討・制作計画 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	3	全体ワークショップ②(ステージング、振付け、演技) 演出部:台本の作成 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	4	劇制作①全体:台本第一稿配布 物語・キャラクター理解 演出部:演出プランミーティング 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	5	劇制作②全体:本読み(5W1Hで台詞を捉える) 演出部:装置プランミーティング 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	6	劇制作③全体:シーン作り(役の関係性から考える動線) 道具係:制作 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	7	劇制作④全体:シーン作り(歌・踊りに意図を持たせるステージング) 道具係:制作 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	8	劇制作⑤全体:シーン作り(音響・照明の効果) 道具係:制作 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	9	劇制作⑥全体:シーン作り(芝居全体から見た部分の役割) 衣装ミーティング 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	10	劇制作⑦荒通し(全体を見通す) 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	11	全体調整ミーティング 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	12	通し(全体調整・制作過程について)(装置、衣装付き通し) 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	13	リハーサル(ゲネプロ) 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	14	本番映像鑑賞・片付け 〈予習〉活動プロセスをまとめておく 90分 〈復習〉本番の振り返りと片付け 90分
定 期 試 験	15	省察・授業のまとめ ※発表本番は総合演習のクリスマス会で行います 〈予習〉活動プロセスをまとめておく 90分 〈復習〉ワークシートの記入 90分
		◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック 30分

授 業 科 目 名	レクリエーション・野外活動			教員名	堀口 芳嗣/山村 穂高		
配 当 年 次	2	開講時期	後期/後期集中	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係						卒業認定・ 学位授与方針	—
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	キャンプインストラクター キャンプ キャンプのアクティビティー						
授 業 の 概 要	本講座は、キャンプに明確な目的やねらいがあり、組織化された複数の指導者により運営・指導がなされる「幼児向けの組織キャンプ」を中心に、キャンプの特性、生活技術、さまざまなアクティビティー、キャンプの安全、キャンプの指導など理論と実技を学び、キャンプ指導者資格であるキャンプインストラクターの免許取得を目指します。キャンプインストラクターとは、キャンプでの活動を指導できる能力を持った指導者で、キャンプの基礎的な知識、技術、考え方を習得していると認定される者に付与されます。2019年10月12日(土)、13日(日)には神川げんきプラザで1泊2日の宿泊による集中講義形式の授業を行います。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 キャンプでの活動(アクティビティ)を指導できる能力を養うため、基礎的な知識、技術、考え方を習得し、希望者はキャンプインストラクターを申請し、取得する。 【到達目標】 キャンプにおいて、小集団の生活を指導する基礎的な理論(キャンプにまつわる特性、対象、指導、安全)を理解している。さらに基礎的な技術(キャンプにまつわる生活技術、アクティビティ)を身につけ、実践につなげることができる。						
授業の方法等	屋内での講義、演習、実技など、多様な授業形態に加え、宿泊によるキャンプも実施します。資格認定に関しては、後期期間内に実施します。						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 50%						
教 科 書	『キャンプ指導者入門』公益社団法人日本キャンプ協会 ※購入方法については後日指示する。						
参 考 書	必要に応じて紹介する。						
関 連 科 目	子ども文化演習B						
質 問 受 付 の 方 法	専任の科目担当教員の研究室等にて受け付ける。						
履 修 上 の 注 意	短大での演習と1泊2日の集中授業を行う。宿泊での集中授業では運動できる身だしなみで参加すること。キャンプに関する持ち物等については事前にオリエンテーションを実施するため必ず参加すること。テキスト代、宿泊費及び資格取得にかかる申請登録費用等がかかるため注意すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	キャンプの指導(1)めざせ！キャンピングインストラクター(アイスフレイキング、キャンピングインストラクターの資質と役割) 〈予習〉キャンプの指導について用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	2	キャンプの特性(1)キンプの意義と目的、キャンプの組織と種類 〈予習〉キャンプの意義と目的、組織と種類について用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	3	様々なアクティビティ(1)キャンプファイア指導法 〈予習〉様々なアクティビティ、キャンプファイアについて用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	4	キャンプの生活技術(1)キャンプの基本装備 〈予習〉キャンプの生活技術、基本装備について用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	5	宿泊による集中講義、実習 ・キャンプの生活技術(2・3・4) テント設営・撤収法、アウトドアクッキング・工具及び道具使用法 ・様々なアクティビティ(2・3・4) キャンプファイア指導法、人とかかわるアクティビティ、キャンプクラフト
	6	・キャンプの安全(1)ファーストエイドの実際 ・キャンプの安全(1)安全管理 ・キャンプの対象(1)人間の理解 ・キャンプの指導(2)指導者のためのコミュニケーションスキル
	7	
	8	キャンプの指導(3)キャンパーの観察と記録 〈予習〉キャンプの指導、キャンパーの観察と記録について用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	9	キャンプの対象(2)人間と自然の関係 〈予習〉キャンプの対象、人間と自然の関係について用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	10	様々なアクティビティ(5)自然観察 〈予習〉様々なアクティビティについて用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	11	様々なアクティビティ(6)野外ゲーム 〈予習〉様々なアクティビティ、野外ゲームについて用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	12	キャンプの生活技術(5)ロープワーク 〈予習〉キャンプの生活技術、ロープワークについて用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	13	キャンプの安全(2)事故事例に学ぶ 〈予習〉キャンプの安全、事故事例について用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	14	キャンプの対象(3)体験は未来を拓く力(自然の理解) 〈予習〉キャンプの対象、自然の理解について用意したプリント課題をやってくる。 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。
	15	授業の振り返り。 〈予習〉それまで配布したプリントの内容を覚える。 〈復習〉使用したプリントでわからなかった部分を覚えてくる。
定 期 試 験		◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	ピアノB			教員名	福泉 博子/数野 麻衣子/大導寺 俊平 福士 紗希/町田 百合絵/宮尾 夕華		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係						卒業認定・ 学位授与方針	—
授業内容を示す キ ー ワード	ピアノ 弾き歌い 習熟度別 伴奏法 基礎・基本確立 専門性向上						
授 業 の 概 要	「音楽」「ピアノA」における習得成果を踏まえ、保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法や弾き歌い、和音やコードを使った伴奏付けなどに必要な技能を学びます。 個々のレベルに合わせた個人レッスンをを行います。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 音楽的な資質・能力を高め、実際に保育現場から求められる要求に応えられる専門性を身につけることができます。 習熟度の低い学生は、読譜力と演奏技術の向上を目指します。 【到達目標】 ○音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 ○習熟度の低い学生はバイエル100番程度の難易度の曲が演奏できる。弾き歌いでは和音や分散和音を用いたこどもの歌が弾きこなせるようになる。 ○中上級者はブルグミュラー、ソナチネ、ソナタや、それらと同等のピアノ曲を演奏することができる。また、コードや伴奏法を用い、童謡などに伴奏がつけられるようになる。						
授業の方法等	○教育実習3週間分を除く、12回の授業を行います。 ○演習形式で行います。 ○個人レッスンを毎週行います。 ○ピアノ、弾き歌いとも個々の進度に応じ、難易度別に設定される曲目をクリアしながら各自がレベルアップを図ります。						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔実技(ピアノ) 40%・弾き歌い 40%〕80% ■授業への取り組み・態度 20%						
教 科 書	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) その他、個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示をします。						
参 考 書	「こどものうた 100」(チャイルド社) 保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 平成30年度入学生ピアノ・弾き歌い進捗表(山村短大オリジナル) やまたんテキストvol.4						
関 連 科 目	音楽 音楽表現 ピアノA						
質 問 受 付 の 方 法	随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 平成30年度入学生ピアノ・弾き歌い進捗表を毎回持参してください。楽譜に書き込みをしたりするので筆記用具を持参してください。 レッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン 教育実習Ⅱピアノ見極めテスト 〈予習〉教育実習Ⅱピアノ見極めテストの練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	2	2～11回 学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	3	拍子とリズム テンポ 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	4	強弱法 音階法 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	5	曲想やフレーズについて 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	6	調性と移調について 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	7	伴奏法についてⅠ ・和音奏法 ・コードについて 子どもの歌弾き歌い(童謡と唱歌) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	8	伴奏法についてⅡ ・分散和音奏法 ・メロディと伴奏 子どもの歌弾き歌い(童謡と唱歌) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	9	歌唱法について 初見演奏練習 子どもの歌弾き歌い(昭和初期～中期) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	10	総復習Ⅰ 子どもの歌弾き歌い(昭和後期) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	11	総復習Ⅱ 子どもの歌弾き歌い(平成) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	12	実技試験リハーサル 〈予習〉試験曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉リハーサルの振り返り 30分 試験曲の練習(歌唱練習含)毎日15分程度
定 期 試 験	◆定期試験〔実技〕70分 ◆振り返り・フィードバック〔試験の講評を行う〕20分	

授 業 科 目 名	スキルアップセミナーⅡ *			教員名	福泉 博子/橋本 夏夫 今村 麻子/新井 英人		
配 当 年 次	2	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係							卒業認定・ 学位授与方針 DP4
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	少人数指導、保育に関する専門性、自己理解						
授 業 の 概 要	前期は、「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、幼稚園や保育所、小学校の教員等としての実務経験を元に保育現場での具体的・実地的な数テーマを取りあげ、それぞれのスキル（専門技術）アップを目指します。 後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編制し、各グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。 後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 様々なスキルアップテーマや興味・関心と同じにするゼミの学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高めることができます。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術や協調性などを習得することによって、保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図ることができます。						
授業の方法等	教育実習3週間分(前期)を除く、通年27回の授業を行います。 前期は、クラス又は学年単位で責任実習等のテーマ別のスキルアップ講座を学習します。後期は、行事の準備や、1・2年生合同で15人程度の少人数グループを編制しゼミナール形式での学習を展開します。 専門的な内容への取組となりますので、授業以外にもクラス・グループ・個人による活動・作業が必要となる場合があります。						
成績評価の 基準と方法	■授業への取り組み・態度（スキルアップの学習 30%、行事 20%、ゼミナール 50%）100%						
教 科 書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配付します。						
参 考 書	適宜紹介、配付します。						
関 連 科 目	基礎演習、総合演習、スキルアップセミナーⅠ						
質 問 受 付 の 方 法	各担任やゼミナール担当に随時聞いてください。						
履 修 上 の 注 意	総合演習(第1時限)とスキルアップセミナーⅡ(第2時限)は、学習内容によって1限目と連続して実施したり、同じテーマでもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	サークルサークル紹介 〈予習〉紹介内容を準備する 90分 〈復習〉活動内容を確認する 90分	13	運動会準備 〈予習〉目的等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	2	クラスゼミ・個人面談（進路等） 〈予習〉進路等について考える 90分 〈復習〉振り返り 90分	14	運動会リハーサル 〈予習〉仕事内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	3	クラスゼミ・個人面談（進路等） 〈予習〉進路等について考える 90分 〈復習〉振り返り 90分	15	運動会 〈予習〉種目等を確認する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	4	防災避難訓練、学生総会 〈予習〉目的等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	16	双子ちゃん集まれ準備 〈予習〉活動内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	5	クラスゼミ・個人面談（進路等） 〈予習〉進路等について考える 90分 〈復習〉振り返り 90分	17	双子ちゃん集まれ 〈予習〉活動内容等を確認する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	6	クラスゼミ・個人面談（進路等） 〈予習〉進路等について考える 90分 〈復習〉振り返り 90分	18	クラスゼミ（クリスマス会準備） 〈予習〉目的等を確認する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	7	クラスゼミ（山緑祭準備） 〈予習〉目的等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	19	クラスゼミ（クリスマス会準備） 〈予習〉活動等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	8	クラスゼミ（山緑祭準備） 〈予習〉活動内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	20	クラスゼミ（クリスマス会準備） 〈予習〉活動等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分
	9	クラスゼミ（山緑祭準備） 〈予習〉活動内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	21	実習報告会（1・2年合同） 〈予習〉実習経験を振り返る 90分 〈復習〉ワークシートにまとめる 90分
	10	小川町七夕準備 〈予習〉目的等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	22	学習ゼミ① 〈予習〉各ゼミの内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分〈予習〉
	11	小川町七夕準備 〈予習〉活動内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	23	学習ゼミ② 〈予習〉研究計画等を立てる 90分 〈復習〉振り返り 90分〈予習〉
	12	小川町七夕準備 〈予習〉活動内容等を理解する 90分 〈復習〉振り返り 90分	24	学習ゼミ③ 〈予習〉研究計画等を立てる 90分 〈復習〉振り返り 90分〈予習〉
			25	クリスマス会リハーサル 〈予習〉演技内容等を確認する 90分 〈復習〉振り返り 90分
定 期 試 験			26	学習ゼミ④ 〈予習〉研究計画等を立てる 90分 〈復習〉振り返り 90分
			27	学習ゼミ⑤ 〈予習〉研究計画等を立てる 90分 〈復習〉振り返り 90分
定 期 試 験	◆定期試験は行わない		◆定期試験は行わない	

実 習 科 目

授 業 科 目 名	実習指導Ⅲ *			教員名	橋本 淳一/相沢 和恵/今村麻子 宇田川 和久/室井 佑美		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	○保育士資格選択必修〔保育実習指導Ⅲ〕						卒業認定・ 学位授与方針 DP3、5
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	教育実習Ⅱ 保育実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 責任実習 主活動 指導案						
授 業 の 概 要	主として「保育実習Ⅱ」又は「施設実習Ⅱ」(選択)の事前・事後指導として実習手続きの細部日程はもちろん、特に実務教員からその職務経験を生かした、保育の実践に必要な実践的な知識や技術、子どもや利用者への指導・援助法や指導案の書き方、クラスでの主活動や利用者の活動の展開方法などを学ぶ。						
授業のねらいと 到 達 目 標	【ねらい】 保育実習Ⅱ・施設実習Ⅱ、教育実習Ⅱを円滑に行うため、計画に基づいて「保育を実践」することを中心に必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 【到達目標】 保育者としての使命感や責任感を醸成し、問題解決思考に基づいて保育場면을計画・設定したり、対象に応じた保育を実践したりできる。						
授業の方法等	教育実習3週間分を除く、12回の授業を行います。 全体講義、グループ別の演習・ディスカッション・実技等多様な形式で進めます。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 50%						
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 神永直美『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林						
参 考 書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』、『幼稚園教育指導資料(第1集、第3集、第5集)』 厚生労働省『保育所保育指針解説』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』						
関 連 科 目	保育実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 教育実習Ⅱ 実習指導Ⅰ・Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	実習アドバイザーまたは担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは極力他の曜日時間に行ってください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	教育実習Ⅱの準備(オリエンテーションから実習終了までの手続き確認) 部分責任実習を伴う実習の特色とその目標・課題の立て方 保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの振り返り 〈予習〉これまでの実習を振り返り、テキスト第2章6を読む 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる 45分
	2	指導案作成のポイント(①季節と子どもの発達に合った主活動の選び方、②留意点記述の観点) 〈予習〉テキスト第2章6を熟読する 45分 〈復習〉指導案作成のポイントの理解と定着 45分
	3	部分責任実習の指導案作成～製作とゲーム・体操遊びの2編～(実習クラス別演習／個別面談)① 〈予習〉テキスト第2章6を熟読する 45分 〈復習〉指導案作成のポイントの理解と定着 45分
	4	部分責任実習の指導案作成～製作とゲーム・体操遊びの2編～(実習クラス別演習／個別面談)② 〈予習〉製作の主活動を考える 45分 〈復習〉製作を主活動とした指導案の理解と作成 45分
	5	教育実習Ⅱ直前指導(実習目標・課題と主活動の確認) 〈予習〉ゲーム・体操遊びの主活動を考える 45分 〈復習〉ゲーム・体操遊びを主活動とした指導案の理解と作成 45分
	6	教育実習Ⅱの振り返り 保育実習Ⅱ・施設実習Ⅱの準備(オリエンテーションから実習終了まで) 〈予習〉関連配布物を読み、今後の実習スケジュールを確認 45分 〈復習〉実習振り返りシートの完成 45分
	7	保育実習Ⅱと施設実習Ⅱの特色と実習のねらい、実習目標の立て方 〈予習〉関連配布物を読み、実習の特色とねらいを理解する 45分 〈復習〉実習目標を立てる 45分
	8	保育所保育の特色の研究① ／ 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究① 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	9	保育所保育の特色の研究② ／ 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究② 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	10	保育所保育の特色の研究③ ／ 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究③ 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	11	保育所保育の特色の研究④ ／ 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究④ 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	12	保育実習Ⅱと施設実習Ⅱでの留意事項と実習準備指導 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績発表時にコメントを入れ返却します〕	

授 業 科 目 名	保育実習Ⅱ *			教員名	橋本 淳一		
配 当 年 次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習Ⅱ〕						卒業認定・学位授与方針 DP3、5
授業内容を示すキーワード	保育所 部分・責任実習 指導案作成						
授業の概要	保育実習Ⅰをふまえて、保育所等において実習指導者の指導の下、保育所の保育を実践に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術の定着をめざす。また、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる技術・能力を養う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育全般に参加し、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術について、その確実な習得を図る。 【到達目標】 子どもの個性やニーズ、保育内容を踏まえて子どもと関わることができる。保育の計画・観察・記録及び自己評価等を適切に行うことができる。保育計画に基づいて指導計画を立案し、保育者にかかわって保育を実践できる。保育士の役割・倫理を理解して適用することができる。						
授業の方法等	保育所(私立等)において、見学・観察・参加実習に加えて、指導案作成を伴う部分・責任(全日)実習を必ず含めて2週間の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤務状況 15% 〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 厚生労働省『保育所保育指針解説』、内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』						
参考書	神永直美『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林 『幼稚園教育指導資料(第1集、第3集、第5集)』文部科学省						
関連科目	保育実習Ⅰ 実習指導Ⅲ						
質問受付の方法	実習アドバイザーまたは担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	「保育実習Ⅰ」の単位取得、細菌検査陰性、実習指導Ⅱの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また「施設実習Ⅱ」との重複履修はできません。 なお、実習園の決定は自己開拓方式で行います。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	【実習の内容】 - 保育所の役割や機能の具体的展開 （1）養護と教育が一体となって行われる保育 （2）保育所の社会的役割と責任 - 観察に基づく保育の理解 （1）子どもの心身の状態や活動の観察 （2）保育士等の援助や関わり （3）保育所の生活の流れや展開の把握 - 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 （1）環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育 （2）入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 （3）関係機関や地域社会との連携・協働 - 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 （1）全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 （2）作成した指導計画に基づく保育の実践と評価 - 保育士の業務と職業倫理 （1）多様な保育の展開と保育士の業務 （2）多様な保育の展開と保育士の職業倫理 - 自己の課題の明確化 【予習・復習の内容】 ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
-----------------------------------	--

授 業 科 目 名	施設実習Ⅱ *			教員名	宇田川 和久		
配 当 年 次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習Ⅲ〕						卒業認定・学位授与方針 DP3、5
授業内容を示すキーワード	個別支援計画 児童家庭福祉 社会的養護 家族支援 生活リズム 生活指導						
授業の概要	保育所以外の児童福祉施設(児童館を含む)等で実習指導者の指導の下その生活に参加し、役割や機能を実践を通して理解するとともに、子ども・利用者の養護や支援の実践について理解を深める。また、子どもや利用者の置かれている環境や障がいの状況等にも目を向け、地域や社会との関連性についても理解を深める。さらに、保育士として業務内容や職業倫理についても実践に結びつけて学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 児童福祉施設等で利用者とともに生活することにより、施設における保育士としての役割や養護、支援の実践、施設の役割と機能について理解する。さらに、家庭と地域の生活実態にふれて、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力の習得をめざす。 【到達目標】 子どもや利用者の心情等を受容、共感して、援助や支援をすることができる。保育士としての養護内容の実践を理解し個別支援計画を作成できる。子どもや利用者の家族への対応や支援を理解する。施設における保育士の役割・倫理を理解して適用することができる。						
授業の方法等	保育所以外の児童福祉施設(児童館等を含む)、障害児通所施設、障害者支援施設、指定福祉サービス事業所等において、2週間の実習を行います。 原則、通勤での実習になりますが、宿泊を伴うこともあります。						
成績評価の基準と方法	■その他〔 総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15% 〕 100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学						
参考書	必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	実習指導Ⅲ 社会的養護 社会的養護内容						
質問受付の方法	実習アドバイザーまたは担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	「施設実習Ⅰ」の単位取得、細菌検査陰性、実習指導Ⅲの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また、「保育実習Ⅱ」との重複履修はできません。 児童館を含む実習施設の決定は自己開拓方式で行います。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	【実習の内容】 1. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能 2. 施設における支援の実践 (1) 受容し、共感する態度 (2) 個人差や生活環境に伴う子どもや利用者のニーズの把握と子ども・利用者の理解 (3) 個別支援計画の作成と実践 (4) 子どもや利用者の家族への支援と対応 (5) 各施設における多様な専門職との連携・協働 (6) 地域社会との連携・協働 3. 保育士の多様な業務と職業倫理 4. 保育士としての自己課題の明確化 【予習・復習の内容】 ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
-----------------------------------	---

授 業 科 目 名	教育実習Ⅱ *			教員名	相沢 和恵		
配 当 年 次	2	開講時期	集中	単位数	3	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕					卒業認定・学位授与方針	—
授業内容を示すキーワード	幼稚園 幼稚園教諭 部分・責任実習 保育内容の指導 学級経営						
授業の概要	幼稚園において実習指導者の指導の下、幼児とかかわりながら幼稚園教諭として必要な資質・能力・技術を培う。特に、実際の現場において幼児の活動へ参加することに加え、幼稚園教諭が行うさまざまな活動（保育指導、学級経営、その他の職務など）を助手的立場あるいは担任に代わって行い、幼児教育と幼稚園教諭の教育活動を実践的に学ぶとともに、その本質や役割への理解を深める。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園での幼児の実態を踏まえて、保育内容・5領域や教職に関する専門的知識・理論・技術等（話法・保育形態・保育展開・環境構成他）、保育を実践するために必要な基礎を確実に身につける。 【到達目標】 ・幼稚園教育要領及び幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し保育を実践することができる。 ・クラス担任の役割と職務内容を実地に即して理解している。 ・さまざまな場面で適切に幼児と関わるができる。						
授業の方法等	原則、教育実習Ⅰと同じ幼稚園において、部分・責任実習を中心に3週間の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15% 〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』 山村学園短期大学 文部科学省『幼稚園教育要領解説』、内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』						
参考書	神永直美『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林 『幼稚園教育指導資料（第1集、第3集、第5集）』文部科学省						
関連科目	教育実習Ⅰ 実習指導Ⅰ 実習指導Ⅲ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び担当教員へ直接質問してください。						
履修上の注意	教育実習Ⅰの単位取得、実習指導Ⅰ・Ⅲの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	【実習の内容】 1. 保育全般に参加し、幼稚園教諭の保育技術・指導方法を習得する 2. 指導案を立案し、保育の一部または全部を担当し、実際に実践する。 3. 幼児の個性、発達、興味・関心など個々の幼児の理解を深め、対応方法を習得する。 4. 幼稚園教諭、幼稚園に求められる地域社会のニーズを体験・理解する。 5. 幼稚園教諭としての職業倫理を実践的に理解する。 6. 幼稚園教諭に求められる資質・能力・技術に照らし合わせ、自己の課題を明確化する。 【予習・復習の内容】 ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
---------------------------	--

研 究 理 解

授 業 科 目 名	クラス運営と教材研究Ⅱ			教員名	橋本 淳一／北條 直子		
配 当 年 次	2	開講時期	半期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格 と の 関 係						卒業認定・ 学位授与方針	—
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	クラス クラス担任 指導計画 主活動(課題のある遊び) 園行事 運動会						
授 業 の 概 要	幼稚園や保育所において保育を進める上で基盤となるクラス運営の理論と技法を学ぶ。特に実務家教員からその職務経験を生かした、クラス担任・保育者として、指導計画、主活動(課題のある遊び)、園行事の運営(運動会)等日々の保育を円滑にそして効果的に進めることができるよう、さまざまなシチュエーションを想定した保育の実践を学ぶ。						
授業のねらいと 到 達 目 標	【ねらい】 保育現場や実習の際に求められる、季節や学年(年齢)に応じたクラス運営と保育教材に関する知識と実践力の獲得をめざす。また、運動会の企画・立案・運営の基礎的なノウハウを獲得する。 【到達目標】 1) 2年次の教育実習Ⅱ・保育実習Ⅱにおいて、季節や学年(年齢)に応じた適切な課題のある遊びを主体的に計画・実践できる。 2) 園行事としての運動会を協働して企画・立案・運営できる。						
授業の方法等	教育実習3週間分を除く、12回の授業を行います。 大半を演習形式で行います。グループや個人で何かををつくって遊んだり、教室外で活動したり、発表をしたりして進めることとなります。必要な材料や用具についてはその都度指示します。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔課題・発表〕50%						
教 科 書	山本亨胤監修・山本淳子編著『実習の記録と指導案』(ひかりのくに)						
参 考 書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、「保育所保育指針解説」フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館						
関 連 科 目	実習指導Ⅲ 教育実習Ⅱ 保育実習Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	授業時間外に、課題作成や発表・ロールプレイの準備が必要です。 また、グループワークでの協働態度も評価の対象となります。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		クラス運営に伴う担任の活動とその意味
	1	〈予習〉担任の仕事を考える 90分 〈復習〉授業プリント読み返し理解を定着させる 90分
	2	部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究① ～指導案作成の観点 〈予習〉課題のある遊びを考える 90分 〈復習〉指導案作成の観点の理解を定着させる 90分
	3	部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究② ～指導案記述の要点 〈予習〉指導案を作成する 90分 〈復習〉指導案記述の要点の理解を定着させる 90分
	4	部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究③ ～指導の実際 〈予習〉指導案を自己添削する 90分 〈復習〉指導の実際の要点の理解を定着させる 90分
	5	部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究④ ～ロールプレイ 〈予習〉指導案を自己添削する 90分 〈復習〉ロールプレイの振り返りと自己課題の整理 90分
	6	園行事の中の活動と遊び 〈予習〉園行事について考える 90分 〈復習〉授業プリント読み返し理解を定着 90分
	7	園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備① 演目・競技、準備日程の決定 〈予習〉運動会について考える 90分 〈復習〉計画した準備工程を理解を定着させる 90分
	8	園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備② ポスター・招待状づくり 〈予習〉ポスター等の作成プランを考える 90分 〈復習〉ポスター等の作成工程を定着させる 90分
	9	園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備③ 万国旗づくり 〈予習〉万国旗の作成プランを考える 90分 〈復習〉万国旗作成工程を定着させる 90分
	10	園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備④ メダルづくり 〈予習〉メダルの作成プランを考える 90分 〈復習〉メダル作成工程を定着させる 90分
	11	園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備⑤ プログラム表づくり 〈予習〉グラム表の作成プランを考える 90分 〈復習〉プログラム表作成工程を定着させる 90分
	12	園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備⑥ 進行表の確認と今後の準備 〈予習〉進行表・準備工程を考える 90分 〈復習〉計画した準備工程の理解を定着させる 90分
定 期 試 験		
定 期 試 験		◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔評価コメントを付して成績配付時にレポートを返却〕

平成31年度山村学園短期大学保育学科カリキュラムツリー

ディプロマポリシー(学位授与の方針)	
本学科では、学則第43条(卒業)に示す所定の単位を修得し、建学の精神(質実・英知・愛敬)、学則にある短期大学及び保育学科の目的に則り、以下のような知識、技能、態度等を備えた学生に対し、卒業を認定し学位を授与する。	
1 社会人として必要な教養・知識 2 保育者としての専門的知識・技能 3 社会人として必要なマナー・常識・態度 4 人や自然を深く愛し、慈しむ態度 5 保育への情熱と使命感を持って社会に貢献しようとする積極的な態度	

保育必修科目	幼稚園教諭二種免許必修科目	学科必修科目	選択科目
--------	---------------	--------	------

1 年		2 年	
前期	後期	前期	後期
2119子どものうたど遊び 子ども文化演習A		2213生活	
2113音楽			
2120ピアノA	2118音楽表現	2214ピアノB	
2114図画工作	2116造形表現	2212子どものアート	
4101子ども文化演習B	2121子ども文化演習D	2214子ども文化演習B	4301レクリエーション・野外活動
2115幼児体育	2117身体表現		2215子ども文化演習C
2301リズム・リズム運動			2301リズム・リズム運動
	クラス運営と教材研究I 教育方法・技術論	33クラス運営と教材研究II	2211保育・教職実践演習(幼稚園)
2102保育原理	2104保育・教育職の研究	2210保育・教育課程論	2203教育原理
2108保育内容A	2109保育内容B	2211保育内容D	2207保育内容総論
	2110保育内容C		
3104実習指導I	3101実習指導II	3201実習指導III	
ラ 保 ン テ イ 践 ア ポ	5101教育実 習I	3102保育実 習I	5201教育実 習II
		3103施設実 習I	3202保育実 習II
1102基礎演習		4201総合演習	
保育体験I	保育体験II	保育体験III	
4101スキルアップセミナーI		4202スキルアップセミナーII	
2116カウンセリング論			2209保育・教育相談の 方法
2105保育の心理学I	2101児童家庭福祉	2204保育の心理学II	2206家庭支援論
2111乳児保育	2103社会的養護	2201社会福祉	2202相談援助
2106子どもの保健I		2208社会的養護内容	2212乳児小児救命法
	2107子どもの保健II	2205子どもの食と栄養	1201体育講義
	2112障がい児保育	2213特別支援教育論	1202体育実技
	生命倫理		1301生命倫理
1101コンピュータ基礎演習		1203日本国憲法	1204保育英会話
1101保育入門	保育体験IV		

○保育体験Iは幼稚園・保育所の協力を得て行うふれあい体験活動。IIは幼稚園・保育所見学、IIIは施設見学を示す。保育体験IVは1・2年生全員が参加するボランティア活動を示す。

○科目の数字は、千の位：ディプロマポリシーのNo.、百の位：履修学年、十と一の位：同一ディプロマポリシー内の科目の順番を示す。

○科目によっては、複数のディプロマポリシーに関連している。学生便覧で確認すること。

2019年度 実務教員の略歴

教員名	担当科目	略歴
相沢 和恵	キャリアアップセミナー I 基礎演習 実習指導 I 実習指導 II 保育内容総論 実習指導 III	昭和52年より東京都区立の幼稚園で幼稚園教諭として勤務。 平成19年から保育所にて派遣保育士、非常勤保育士として勤務の後、平成26年短期大学・専門学校の非常勤・専任を経て現在に至る。
新井 英人	教育原理 総合演習 スキルアップセミナー II	昭和54年よりさいたま市立(大宮市立)小学校やローマ日本人学校の教員として勤務。 平成12年からさいたま市立(大宮市)教育委員会で勤務の後、平成18年さいたま市立の小学校で教頭・校長を経て現在に至る。
今村 麻子	保育の心理学 実習指導 I 実習指導 II 保育・教職実践演習(幼稚園) 総合演習 スキルアップセミナー II 実習指導 III	平成3年より幼稚園教諭として勤務。平成11年より保育事業会社にてベビーシッター派遣、保育園園長、保育事業部マネージャーの業務を行う。産業カウンセラー、キャリアコンサルタントとして活動後、平成26年保育専門学校・短大の講師を経て、現在に至る。
宇田川 和久	キャリアアップセミナー I 実習指導 II 基礎演習 実習指導 III	昭和58年より埼玉県立養護学校の教員として勤務。 平成18年から養護学校の開設準備委員、開設準備副委員長、埼玉県立総合教育センター、埼玉県教育局で勤務の後、平成29年埼玉県立特別支援学校校長を経て現在に至る。
橋本 淳一	キャリアアップセミナー I 基礎演習 実習指導 I 実習指導 II 基礎演習 保育・教職実践演習(幼稚園) 実習指導 III	平成3年より東京都社会福祉協議会東京ボランティアセンター専門員として勤務。 昭和63年より看護専門学校の非常勤講師、保育専門学校の講師、短期大学・大学での非常勤講師を経て現在に至る。
室井 佑美	保育原理 実習指導 I 実習指導 II 実習指導 III	平成17年より東京都区立の障害保健福祉センター子ども療育事業で保育士として勤務の後、平成18年より病院内の医事課連携相談室で社会福祉士として勤務。 平成19年からは大学にて助教(実習担当)、専門学校での専任講師および非常勤講師、病院内で非常勤保育士として勤務を経て現在に至る。

山村学園短期大学

〒350-0396 埼玉県比企郡鳩山町石坂604

【TEL】 049-296-2000

【FAX】 049-096-4880